

十一番	津田 真道
十三番	鍋島 直彬
十四番	河瀬 真孝
十五番	伊丹 重賢
十六番	大久保一翁
十九番	楠本 正隆
二十番	海江田信義
二十一番	箕作 麟祥
二十二番	榎村 正直
二十三番	九鬼 隆一
二十五番	津田 出

二十六番	關口 隆吉
二十七番	黒田 清綱
二十八番	西 周
二十九番	渡邊 清
三十番	野村 素介
三十一番	鍋島 幹
三十二番	河田 景與
三十三番	大給 恒
三十四番	三浦 安
三十五番	本田 親雄
三十六番	東久世通禧

内閣委員 番外 參事院議官 安場 保和

同 番外 參事院議官補大森 鍾一

午前第十時開場

○議長 本日ハ第三百六十五號議案ノ第一讀會ヲ開ク且昨二十一日  
ヲ以テ府縣會規則改正布告案中ヘ追加ノ二字ヲ加ヘ規則第三十一  
條ノ上ヘ第六條二項ヲ追加スルノ件ヲ議定ニ付セラレタリ即日各  
官ニ頒布シタル第三百六十六號議案是レナリ然ルニ兩案既ニ別號  
ヲ附シタルモ其實同議案タルニ過サレハ此ニ兩案ヲ併セテ朗讀セ  
シムヘシ

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治十三年<sup>四</sup>月第十五號布告同年<sup>十一</sup>月 第四十九號布告府縣會規則中

左ノ通追加改正ス

第六條 二項

出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキハ府知事縣  
令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ

第三十一條 府縣會ハ每年一度三月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知  
事縣令ヨリ之ヲ命ス會期ハ三十日以内トス但區部郡部會ヲ開ク  
地方ニ於テハ七日以内延期スルコトヲ得

第三十二條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキ府知事縣  
令ハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ七日以内トス但該會ヲ要ス  
ル事由ヲ直ニ内務卿ニ報告スヘシ

第三十三條 二項

府縣會ニ於テ若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ府知事縣令ハ更ニ其議定ヲ要セス内務卿ニ具狀シ其認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得

第三十七條 常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序及豫備費ノ支出ニ付府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述フ

常置委員ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決シ追テ府縣會ニ報告スルヲ得

右奉 勅旨布告候事

布告案

明治十三年<sup>四月</sup>第拾六號布告地方稅規則中左ノ通追加改正ス

第三條 二十項

一 豫備費 豫算外ニ生シタル事件及豫算臨時ノ不足ニ充ル者

第四條 二項

地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年度間ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取り府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年度間之ヲ施行スルコトヲ得

第五條 二項

前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中

不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取  
リ其補充費ヲ徵收スルコトヲ得

右奉 勅旨布告候事

布告案

府縣會規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ内務卿ハ特ニ府縣會ヲ  
停止スルコトヲ得而シテ更ニ開會ヲ命スル迄ノ間ハ府知事縣令ニ  
於テ地方稅ノ經費豫算及徵收方法ヲ定メ内務卿ノ認可ヲ得テ之ヲ  
施行スルコトヲ得

右奉 勅旨布告候事

布告案

府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ

又ハ往復通信スルコトヲ許サス但集會スル者何等ノ名義ヲ以テス  
ルモ府知事縣令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルトキハ其解散ヲ命  
シ必要ナル處分ヲ執行スヘシ

前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサルモノハ集會條例第十三條ニ  
依テ處分ス

右奉 勅旨布告候事

○番 安場保和

本案議定ニ付セラレタル主旨ヲ陳ントス抑モ明治十

一年初メテ府縣會規則等ノ三大新法ヲ制定シ之ヲ十二年ヨリ施行  
シ仍ホ十三年ニ至リ改正増補シ一ハ以テ法律ノ精神ヲ明ニシ一ハ  
以テ議權ノ擴張ヲ期セシモ奈何セン世ノ風潮八年ヲ追フテ逆流倒  
行シ立法ノ原意未タ達セス議事ノ秩序尙ホ全タカラサルニ之カ議

員タルモノ早ク已ニ民權論ヲ奇貨トシ自由說ヲ孤注トシ其定分ヲ  
踰ヘ動モスレハ地方理事者ニ激昂シ稍凌辱ヲ加ヘントスルモノア  
リ最モ甚シキモノヲ云ヘハ地方長官ノ交迭ヲ公然論議シテ憚ラサ  
ルニ至ル其僭忒モ亦極ルト云フヘシ是レ畢竟各府縣下ニ於テ産業  
ニ富ミ才行ヲ具ヘ久シク衆望ヲ荷ヒ眞個議員タルヘキ資質ヲ有ス  
ル人ニシテ其撰ニ當リ出テ事ニ從フモ時弊ノ然カラシムル所ナル  
カ其出ルモノハ多クハ少年薄産實業ノ何物タルヲ省セス妄リニ客  
氣ニ趨リ空論之レ事トスル輩ニシテ素ヨリ共ニ謀ルニ足ラス其着  
實ニシテ志望アルモノハ一ニ此輩等ノ爲メニ地方ノ計畫ヲ過マラ  
レンコトヲ恐ル、ニ感ヲ懷キ且ツ初メヨリ此輩等ト比肩同伍スル  
ヲ屑ヨシトセサルヲ以テ其志シハ公共ニ存スルモ早ク跡ヲ議會ニ

絶チ餘ス所ハ夫ノ詭言相喜ヒ侮慢相狎ル、ノ徒ニシテ偶マ意ヲ議  
會ニ得其勢ノ向フ所遂ニ茲ニ至リシナルヘシ寔ニ勝テ慨スヘキコ  
ト、ス客歲ノ改正蚤ク此ニ見ルアリ乃チ之ヲ其萌芽ノ中ニ制止セ  
ントセシモ終ニ及ハサルノミナラス今日ニ於テハ既ニ本案ヲ以テ  
布告セサルヘカラサルニ至ル時勢既ニ爾リ復タ如何トモシ難シ冀  
クハ之ヲ以テ弊害ノ由テ生スル源ヲ塞斷シ惡習ノ傾キ易キ路ヲ矯  
正シ彌進ンテ地方行政事業ト議會ノ行務ト相依リ相待テ其幸福ヲ  
保全セシメントス其最モ意ヲ用ヒシハ從前府縣會會期ハ三十日ノ  
制ナルニモ拘ラス孰レノ地方ヲ問ハス延期ヲ請ハサルハナシ或ハ  
之ヲ延テ百日乃至百五十日ニ至ルアリ之レ一ニ地方官ノ困ヲ受ル  
ノミナラス地方人民ノ害ヲ被ル殊ニ多シ其弊害ノ名狀スヘカラサ

ルヤ各位ト俱ニ夙ニ憂苦スル所ナリ故ニ今回ノ改正ニ於ル之カ裁制ヲ嚴肅ニシ府縣會議員ヲシテ拮据事ニ從ハシメ曠日瀰久ノ弊ナカラシメントス之ヲ要スルニ一議會ノ下大抵ハ二三ノ不善者アリ教唆誘導言ヲ左右ニ託シ疑ヲ是非ノ間ニ存セシメ輒スク此ニ陷ラシムルモノナレハ其會期ヲ法ノ如クセハ又何ノ違アツテカ彼輩等自ラ逡巡シ又他人ヲシテ途ニ彷徨セシムル術アランヤ必スヤ健歩直進俱ニ其成事ヲ見ントスルニ汲々スルヤ明カナリ以上述ル所ノ大意一トシテ府縣會開設ノ盛意ヲ達セントスルニアラサルハナシ各位幸ニ此意ヲ領シ速ニ議定アランコトヲ且其詳細ニ至テハ質問アルニ際シ陳辨セントス

○十番柴原和

内閣委員ノ説述ヲ聞モ本案布告ヲ發スルノ必用ナルヲ

領得セリ意固ヨリ賛成ニアリ而シテ其改正ヲ要セラル、主眼モ究メテ明白ナリ其一二ヲ舉レハ法律上通常會期ハ三十日ノ制限アルモ嘗テ見聞スル所ヲ以テスレハ已ニ東京府會ノ如キハ百日ニ及フモ議決セス其他ニ於ルモ概ネ爾ヲサルハナシ其會期中ニ議了セシ好聞ハ未タ不幸ニテ本官等ノ耳朵ニ達セス然ルヲ之カ議員タルモノ延テ六十日七十日ニ及フモ尋常ノ事ノ如クニシテ毫モ怪シマス特リ之ヲ怪マサルノミナラス三十日ノ制限中ニ議決スルハ議會ノ羞辱ナリトスルカ如キ情況ヲ漸致セリ蓋シ其期限ノ延ルニモ自ラ次第アリ東京ノ如キ人家密接地勢相逼リ往復自由ナルヲ以テ之カ議員タルモノ晝間ハ商業ニ從事シ夜陰ニ開會スルヲ便利ナリトスルモノニ於テハ姑ク恕スヘシト雖モ他ノ地方ニアツテハ則チ然カ

ラス議事ノミヲ專務トシテ特ニ旅費日當ヲ領シ四方ヨリ其地方廳下ニ會同シ大ニ人民ノ福利ヲ圖ラントスルニアレハ單純專意事ニ從フヘキニ或ハ懇親會ニ名ヲ假リ或ハ建白書ニ事ヲ寄セ時日ヲ空過スルアリ或ハ一管内ニシテ山郷水村ノ地勢ヲ異ニスルヨリ各異見ヲ持シ各黨派ヲ立テ己ヲ利セントスルヨリ動モスレハ病氣ヲ以テ缺席シ故ヲニ議事ヲ延會スルアリト云ヘリ之レ其弊風ニアラスシテ何ソヤ之ヲ拯フヤ他ニ術ナシ嚴ニ三十日ノ期限ヲ以テ議定セシメ倘シ彼レ優遊不斷自ラ議權ヲ拋棄スルアレハ府知事縣令ハ其議決ヲ待タス之ヲ施行スルヲ得ルヲ以テ今ヨリハ議員ニ於テモ厚ク心ヲ用ヒ土曜日曜ノ日ニ當ルモ勉勵決議スルニ至ラン尙ホ其郡區部會アル地方ハ更ニ猶豫ノ日限アリ又臨時會ノ日限モ太タ其當

ヲ得タリトス且ツ今回布告ノ重要ニ屬スルモノハ本案中ノ最末ナル地方聯合集會ヲ制スルノ議案ニシテ輕々之ヲ見ハ或ハ壓制ニ似タリトスルモ其實決シテ然ラス既ニ東京府會議員ノ如キハ來年某月日ヲ以テ全國ノ議員ヲ召集シ何事ヲカ議セントスルノ檄文ヲ四方ニ傳ヘタリト云ヒ又石川縣會議員ノ拘引セラレシモノアリシヨリ諸方ニ往復通信シ人心ヲ鼓動スルアリト云フ畢竟府縣會議員ハ一地方ノ議權ヲ有スルモ之ヲ廣ク各地方ニ及ホシ聯合集會スルノ議權ナシ然ルヲ彼ヲシテ法律ニ明文ナキヲ便ナリトシテ一ニ其爲スニ任セハ終ニ國安ヲ妨害スルニ至ルアルモ亦知ルヘカラス如何ソ之ヲ不問ニ付スヘケンヤ之レ大体上本案ヲ賛成スル所以ナリ仍ホ茲ニ質疑ノ要スヘキアリ之ヲ內閣委員ニ問ン其一ハ府縣會規則

第六條ニ二項ヲ追加セラレ「出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキハ府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ」トセシハ何ノ意ニ出ルヤ現行法ニ「府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得若シ異見アルトキハ議長ノ名ヲ以テ直チニ內務大藏兩卿ニ上申スルコトヲ得」トアリ既ニ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得ト明文アル以上ハ府知事縣令ハ之ニ應シテ説明スヘキハ論ヲ俟タサルナリ何ソ殊更ニ此ノ追加アルヲ要セン然ルヲ丁寧反復舉示スルモノハ必ス事由アツテ然ルナラン其所以ヲ問フ其二ハ第三十七條改正ニアリ現行法ニ依レハ「常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スル方法順序ニ付毎ニ府知事縣令ノ諮問ヲ受ケ其

意見ヲ述ヘ云ヤ」トアリシニ今回ハ添ルニ「及豫備費ノ支出」ノ文字ヲ以テシ之ヲ其「方法順序」ノ下ニ置キタリ本官ハ意ヲク假令此文字ナキモ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スル方法順序ノ諮問ヲ受ケトアレハ豫備費云々ノ文字ハ自ラ其中ニ含有シ府知事縣令ニ於テ併セテ之ヲ諮問スヘキヲ信ス然ルヲ殊ニ之ヲ加ヘシハ何ノ理由アツテ然ルヤ其三ハ地方稅規則第三條二十項豫備費ノ脚註ニ改正アリ之ヲ現行法ニ較フレハ「事件及ヒ豫算臨時」ノ數字ヲ加ヘラレタリ此數文字ノ有無ニ因リ何様ノ差違アリヤ此事件云々ノ文字ヲ加ヘタルノ故ヲ以テ第三條二十費目以外ニ之ヲ使用スルヲ得トハ得テ解スル能ハス然ラハ則チ二十費目中例ヘハ土木費ハ土木費ノ豫算アリ其豫算外ニ生シタル臨時ノ費用ニ充ルノ意ニ外ナラサル



ヘシ果シテ二十費目外ノ事ニ使用セストスレハ現行法ト異ナルコトナシ然ルヲ此ノ如ク増補アルハ畢竟何ノ用ニ供セントスルノ意ナリヤ之ヲ問フ

○外番一安場保和

十番ヨリ府縣會規則第六條追加ト同ク第三十七條及ヒ地方稅規則第三條二十項改正ニ係ル事項ニ對シ質問アリ因テ本員ハ之ニ答フルニ先ツ府縣會規則第三十七條ト地方稅規則第三條二十項トノ改正ニ係ルモノヲ以テセン既ニ現行法ニハ「常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序ニ付毎ニ府知事縣令ノ諮問ヲ受ケ其意見ヲ述ヘ及ヒ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ其經費ヲ議決シ追テ府縣會ニ報告スヘシトアリテ一條連續シアルモ本案ハ其諮問會ト決議會トヲ

別チ之ヲ二項トセリ即チ其第一項ニ於テ現行法ハ事業ヲ執行スルノ方法順序ニ付毎ニ府知事縣令ノ諮問ヲ受ケ云々トアル毎ニノ文字ヲ省キ仍ホ豫備費ノ支出ト云フ文字ヲ加ヘ更ニ第二項ニ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決シ等ノ文字ヲ加ヘタリ請フ其所以ヲ述シ抑モ本條ニ於ル動モスレハ見解ヲ異ニシ人ノ疑義スル所トナル其毎ニノ字ニ於ル最モ其衝ニ當レリ或ハ毎ニノ字ヲ以テ方法順序ヲ諮問スル毎ニトスルアリ或ハ事業ヲ執行スルヤ大小事毎ニ之カ諮問ヲ受ケントスルアリ地方官ト議會ト見解ヲ同フセサルハ自然ノ勢ヒニシテ已ヲ得サルモ元是諮問會ナレハ常置委員ノ其意見ヲ述ルモ之ヲ取捨施行スルハ固ヨリ府知事縣令ノ職權ニアリ必スヤ常置委員ノ意見ノ如クセサルヘカラス

ト云フニアラス然ラハ何ソ其瑣末ノコトニ至ル迄之ヲ諮問スヘキモノナリト解スルノ理アラシヤ然レトモ疑ヒアル文字ハ存シテ益ナシ其ナキノ優レルニ如カス是レ之ヲ削リタルノ意ナリ又豫備費ノ支出云々ノ文字ヲ加ヘシハ従前此豫備費ニ於ル常置委員ニ諮問スルノ例ニアラス畢竟此費目タルヤ未タ常置委員ヲ設ケサル以前ノ制定ニ係ルヲ以テ規則上明文アルコトナシ蓋シ或地方ニ於テハ之ヲ諮問スルアリト聞クモ必ス爲サ、ルヘカラストスルニアラス然ルニ豫備費ノ地方税ニ於ル地方經營上ニ於テ其停滯ノ事業ヲシテ別ニ活路ニ向ハシムルノ用ニ供スルモノナレハ他ノ事業ヲ執行スル方法順序ト共ニ之ヲ諮問スルヲ穩當ナリトシテ之ヲ加ヘタリ又其常置委員ヲシテ諮問會ノミナラス決議會ヲモ爲サシムルモノ

ハ客歲ノ改正ニ於テ既ニ其端緒ヲ開キシモ未タ以テ足ラサルモノアリ其故ハ常置委員會ナルモノハ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ府縣會ニ代リ之ヲ議定スルノ權ヲ有セシム之レ特ニ臨時會ヲ開クノ冗費ヲ省クト急施ニ應スルノ便宜ヲ取ルトニアリ仍テ其經費ノ豫算及徵收方法ヲモ議決スルアラシメ以テ其完全ヲ得セシメントセリ又地方税規則第三條二十項豫備費ノ脚註へ「事件及豫算臨時」云々ノ文字ヲ加ヘシハ地方税ノ支辨ニ係ルモノハ既ニ費目ノ定メアリ之ニ依リテ其豫算ヲ立其支拂ヲ爲スニアリト雖モ時ト所ニ因リ豫算外ニ費用ヲ要スルコトアリ是ヲ以テ豫シメ其用ニ供スル爲メ此豫備費ノ一項ヲ設ケタルナリ若シ此項徴セハ些少ノ費用ヲ欲スルモ其都度臨時會ヲ開カサルヲ得サルノ不便アリ然ルニ従前ノ

如キ脚註ニテハ單ニ豫算外ニ生シタル不足ニ充ツヘキモノトアルヲ以テ例ヘハ河港道路堤防橋梁建築修繕費ノ總計一萬圓ニシテ其豫算ヲ立ルトキハ備工錢二十五錢ナルモ物價騰貴ニ由リ俄ニ三十錢トナラハ是レ則チ建築修繕費ニ若干ノ不足ヲ生スルナリ其脚註ノ文字ノ如クナレハ豫算外ニ生シタル不足云々トアルヲ以テ限外ナリトスルアリ或ハ其中ニ入ルヘキモノトスルモアリ特リ地方官ニ疑義アルノミナラス内藏兩省ニ於ルモ其見解ヲ異ニセシコトアリト云フ故ニ今之ヲ改正セントスルナリ蓋シ其意タルヤ豫算外ニ生シタル別途事件及ヒ豫算中臨時ニ生シタル不足ニ充ル者ト之ヲ分別シ其兩途ニ使用スルヲ得セシメントセリ是レ以上改正ヲ要スル概畧ナリ他ノ府縣會規則第六條二項追加ノ理由ノ如キハ番外三

番ヨリ之ヲ述フヘシ

○外三番大森  
鍾一

十番ヨリ府縣會規則第六條追加ノ理由ヲ問ハル之ニ答ヘン抑モ十番ノ此間ニ疑ヒアルヤ其故ナキニアラス現行法ニ「府縣會ハ云々前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得云々」トアリテ今又更ニ「云々府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ」トセントスルヲ以テ之ヲ重複ナリトスルモ論理上當ラストセス然レトモ實務上ヨリ看來レハ斯クセサルヲ得サル事情アリ近來各地方ニ於テ即チ第六條ノ明文ニ依リ出納決算報告ヲ爲スニ之カ説明ヲ求ムルヤ頻繁ニシテ多クハ第六條ヲ解釋スルニ府知事縣令自ラ之カ説明ヲナスヘキモノナリトシテ其臨席ヲ乞フテ止マス適マ他ニ事故アリテ之ニ應スル能ハス代理人ヲ以テ

セントスレハ法律上代理人ヲ以テスルノ明文ナシ必ス府知事縣令ノ説明ヲ求ムト云フテ肯セサルアリ夫レカ爲メ往々葛藤ヲ生シ無益ノ論辨ヲ費スニ至ル是畢竟其第二十七條ニ府知事縣令若クハ其代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明スルヲ得トアリテ代理人ヲ要スル場合ハ特ニ法律ニ明文アリ然ルニ第六條ニ之ナキハ府知事縣令自ラ出席シテ説明スルノ謂ヒナリト云フ其一方ニハ代理人アリテ一方ニナキヲ以テ口實ヲ此ニ假リ強テ之ヲ要求スルハ固ヨリ穩當ノ舉止ニアラスト雖モ法律上明文ナキ以上ハ之ヲ裁制スルニカナシ之レ本年各地方官在京中内務省ニ就キ屢其明文ヲ掲ケンコトヲ請ヒタル所以ナリ蓋シ去年ニ於テ初メテ決算報告ヲナセシニ之カ爲メ縣官ト縣會トニ異議ヲ生シ參事院ノ審議ヲ乞フモノ二三

縣ニ及ヘリ之レ地方長官ニシテ臨席シテ説明セハ可ナルカ如シト雖モ分毫漏サス其細微ヲ悉シテ説明スルハ終ニ能ハサル所ナルヘク又時ト所ニヨリテハ特ニ紛争ヲ誘起セン爲メ之ヲ請フナシトセス之ヲ要スルニ其實必ス地方長官自ラ説明ヲナサルヘカラスト確定スルヲ須ヒス故ニ本案ノ如クセハ自ラ之ヲ爲ス固ヨリ可ナリ或ハ其代理人ヲ以テスルコトモ可ナリ之レ大ニ實際ノ便宜ナラントス願クハ文章上反復ニ涉ルカ如キモ之ヲ尤メスシテ其弊ノ由テ生スル所ヲ制センコトヲ

○十一番 津田眞道 本官モ大体上之ヲ可トス抑モ明治十一年府縣會設置

ノ端緒ヲ開キシ以來年々規則ノ改正アリ之レ實際已ヲ得サルモノアリテノ故ナラン本官ハ其根源ヨリ論センニ此規則制定ナキ十年

以前ハ人民不幸多ク此制定アリシ十一年以後ハ頓ニ蒼生ノ幸福ヲ増セシカ未タ之ヲ信スル能ハス焉ソ此事ノ有無ヲ以テ人民ノ休戚ニ關ストセン伏惟ミルニ我祖宗開闢以來二千五百有餘年ノ久シキ絶テ此舉ナシ之レ近時百般ノ制度歐洲ニ模擬スルノ餘波終ニ茲ニ至リシカ本官更ニ其事ノ可ナルヲ知ラサルナリ既ニ歐洲大陸ニ國ヲ成シ一方ニ屹立スル魯土二國ノ如キモ未タ國會ノ設ケナシ其政府人民ノ間ニ調和ヲ圖ラハ必スヤ彼ノ二國ニシテ府縣會ノ設置ナカルヘカラサルカ如シ而シテ之ナキハ何ソヤ之ヲ置ノ置カサルニ勝ルアルヲ以テノ故ナラン我帝國ニ於ルモ又然リ其之ヲ置カサルヲ得サルノ道理アツテ置シカ未タ其道理タルヲ知ラス宜ナリ之ヲ設置セシ以來各地人民ノ福利ヲ増スコトヲ聞カス當ニ之ヲ聞カサ

ルノミナラス往々事業ノ澁滯ヲ來シ其地方ノ衰微ヲ見ルニ至ル彼石川縣會ノ如キハ未タ本年ノ通常會ヲ閉會セスト云フ其人民ノ感觸如何ソヤ之レ上政府ノ治ヲ補フナク下人民ノ生ヲ利スルナシ畢竟何ノ用ヲ爲スニ堪ンヤ本官ハ之ヲ廢シテ二十三年國會開設ノ期ヲ俟チ諸般ノ準備整頓スル日ニ於テ再ヒ設置スルモ晚カラサルヘシトス論シテ此ニ至ルモ已ニ今日ニ於テ容易ニ行ハルヘキニアラサレハ已ヲ得ス之ヲ改正シテ一時ノ弊ヲ救フニ同意スルナリ乃チ第三十一條府縣會期タル確ト之ヲ制限セサレハ弊害隨テ相生シ地方官ハ事業ノ着手ニ後レ其人民タルモノハ徒ラニ費用ノ負擔ヲ重子結局官民ノ困厄ヲ醸スハ理ノ最モ觀易キモノナリ既ニ某縣ニテハ今年ノ會ヨリ直チニ明年ニ及ハントスル看ヲ呈セリト云フ如何

ソ之ヲ救フノ方法ヲ講セサルヲ得ンヤ又地方議員ハ其地ノ利弊得  
 喪上ニ於テ事ヲ議スヘキモ他ノ地方議員ト消息相通シ聯合集會以  
 テ事ヲ議セントスルハ權理上其本分ヲ踰ヘ道義上不當ノ所爲ナリ  
 トス政府ハ一國ノ治安ヲ保護スル爲メ此舉動アラントスルヲ制止  
 スルハ施政上當ニ然ルヘキ處斷ナリトス回顧スレハ十一年初メテ  
 之ヲ布クヤ人或ハ人民ヲ利スルナラントセシモ今ヤ其益ナキノミ  
 ナラス此ノ如キ害アルニ至ル之レ此改正布告アル所以ナリ國ノ政  
 ヲ執リ民ニ法ヲ布クモノ深ク鑒ミサルヘケンヤ又如何ニ他國ニ美  
 法アリト雖モ我人民ノ見聞セサルモノヲ輒ク取テ之ヲ行ハントス  
 ルハ立法施法ノ本意ニアラス此案ノ如ク其弊アルニ於テ之ヲ改ム  
 ルハ其宜シキ所ナリ全然本案ノ如ク決定センコトヲ望ム

○十番柴原和

内閣委員ノ辨明ヲ得第六條用意ノ周密ナルヲ知レリ尙

第三十七條豫備費云々ノ明カナラサルアリ其他別ニ質問ノ要スヘ  
 キアリ請フ之ヲ述ン内閣委員ノ言ニ據レハ第三十七條ニ豫備費ノ  
 支出ヲ掲ケシハ元來現行法ニアルヘキモノ、缺ケタルヲ以テ之ヲ  
 示セリト云フ然ルニ地方稅費目中ニ豫備費ノ目アリ加之現行法府  
 縣會規則第三十七條ニモ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方  
 法順序ニ付キ意見ヲ述ルトアレハ假令毎ニ〇二字事ニ害アリテ省  
 クトスルモ府縣會議定ニ係ル一切ノ事ヲ舉テ執行ニ就テノ諮問ヲ  
 爲スニアレハ何ソ豫備費ノ一項ノミヲ以テ之ヲ外ナリトシ問ハサ  
 ルノ理アラシヤ本官ハ意ヲク特ニ豫備費ノ支出云々ノ文字ナキモ  
 府知事縣令ハ必ス之カ諮問ヲ爲スヘキヲ信スルヲ以テ故ラニ之ヲ

掲クルノ要用タルヲ知ラス又地方税規則中第五條二項ヲ追加セラレ前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取り其補充費ヲ徵收スルコトヲ得トセシモ何等ノ意ニ出ルヤ夫レ地方税ニハ二十項ノ費目ヲ立テ悉ク豫算ヲ設ケテ支辨スル所ナルモ或ハ豫算外臨時ノ費用ヲ要スルアレハ常置委員ノアルアリ之ヲ議セシメテ可ナリ然レトモ之レ臨時已ヲ得サルノ處分ニシテ事ヲ鄭重ニシテ議會ヲ信憑スルノ主點ヨリスレハ深ク意ヲ用ヒ大抵通常會ニ於テスルノ良キニ如カス乃チ一年間ノ經費ヲ十九費目中ニテ其豫算ヲ定メ尙ホ其費自中ニ不時ノ費用ノ増スヘキアランモ期スヘカラサルモノトシテ別ニ豫備費ノ一項ニ於テ其餘裕ヲ存セハ何ノ缺ク

所カアラン況ンヤ前陳ノ如ク常置委員ノ常ニ廳下ニ在テ臨時ノ求メニ應スルアルヲヤ然ラハ本案ノ前年度決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル費目ノ不足ノ生スル所以ヲ知ラス是果シテ何ナル事ナリヤ又本文中第三款ニ方ル布告案ハ「府縣會規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ内務卿ハ特ニ府縣會ヲ停止スルコトヲ得而シテ更ニ開會ヲ命スル迄ノ間ハ府知事縣令ニ於テ地方税ノ經費豫算及徵收方法ヲ定メ内務卿ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得トシ之ヲ單行布告ニセラレントス然ルニ第三十三條八十四年第四號布告ヲ以テ二項三項ヲ追加セラレタリ此例ニ依ラハ仍ホ之ヲ第三十三條第四項トシテ府縣會規則中ニ併掲スルヲ以テ便宜相當ナリト考フ然ルヲ追加トセスシテ殊更ニ單行布告ヲ以テスルモノハ別ニ理由アツテ

然ルヤ之ヲ問フ又本家中第四款ニ方ル布告案ハ一種趣向ノ異ナル  
アルヲ以テ府縣會規則中ニ編入スヘキモノニアラサルヘシ之レ單  
行布告スルヲ以テ當然ナリトス唯此ニ疑ヒアリ案中「府縣會議員會  
議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信  
スルコトヲ許サス但集會スル者何等ノ名義ヲ以テスルモ府知事縣  
令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルトキハ其解散ヲ命シ必要ナル處  
分ヲ執行スヘシ」トアリテ但以下ノ文字ハ專ラ集會スルモノニ關シ  
其往復通信スルモノニハ與ラサルカ如シ然ラハ集會スルモノハ何  
等ノ名義ヲ以テスルモ府知事縣令ニ於テ禁令ヲ犯スト認ムルトキ  
ハ解散ヲ命スル等ノ處分ヲ爲スモ其通信往復スルモノニアツテハ  
他ノ名義ヲ以テセハ敢テ問フ所ニアラサルカ如シ若シ然リト云ハ

、何邊ノ權度ヨリ其聯合集會スルモノト往復通信スルモノトノ差  
等アリヤ以上答辨ヲ得ン

退席

三十三番

大給

恒

○番三番 大森 鍾一

外

十番ノ質問ニ答ヘン本家中地方稅規則第五條二項ノ

追加ヲ要スル理由ハ通常費途ハ豫算定額ニテ支拂臨時費用ハ豫備  
費ヲ以テシ尚ホ別ニ臨時急施ヲ要スル時ハ其場合ニ依リ更ニ常置  
委員ノ議定ヲ以テ徵收支辨スルコトアルハ十番ノ言ノ如シ而シテ  
第五條二項ノ追加ヲ要スルハ之ニ異ナレリ個ハ前年度經費決算ノ  
場合ニ於テ費目中ニ不足ヲ生セシ時ノ補充費ナレハ實際上豫算定  
額ヲ以テスル能ハス勿論豫備費ヲ以テスルノ限ニアラス是等ハ次  
年度ニ於テ別ニ補充費ヲ徵收支辨スヘキハ當然ナリト雖モ法律上



明文ナキカ爲メ屢地方行政官ト議會トノ間ニ葛藤ヲ起シ政府ノ審理ヲ求ムルモノ殊ニ多シ故ニ本案ノ如ク示スニ明文ヲ以テシ判然歸着スル所ヲ知ラシメハ頓ニ紛争ノ根ヲ斷ツニ至ルヘシ仍ホ試ニ此補充費ヲ要スル一二ノ例ヲ舉ケテ各位ノ參考ニ供スヘシ例ヘハ地方税ノ支辨ニ係ル戸長職務取扱費ニ於ル豫算定額アルモ或ハ不時ニ火災盜難等ニ遭遇セハ之ヲ補ハサルヘカラス又車税ノ如キモ一千輛ニ課スル豫算ナルモ實數九百輛ニ上ラサルトキハ忽チ百輛分ノ徵收不足ヲ生スヘシ或ハ爲替取扱人ノ破産等ニテ損失ヲ生シ決算ニ不足ヲ來スナシトセス其他ニモ此例多ヤアラン然ルニ某縣ニテハ通常會延期ノ長キ會費ニ不足ヲ生シ一時補充費ヲ以テ支拂タルモ年度ニ至リ之カ支拂方ノ議案ヲ發シ議セシメントセシニ議

會ハ之ヲ肯ンセスシテ曰ク縣會ハ府縣會規則第一條ニ依リ經費ノ豫算及其徵收ハ議スルモ支拂後ノ補充費ヲ議スヘキモノニアラストシテ之ヲ否メリト云フ之レ不當ノ甚シキモノナリト雖モ職トシテ法律上明文ナキニ由ル惟フニ斯ル紛議ハ往々免レ難キ所ナラン故ニ今ニシテ之ヲ制スルノ法ヲ設ケントス之レ第五條二項ノ追加ヲ要スル原因ナリ又第三十三條第一項ノ場合云々布告案ノ單行法トセシ理由ヲ問ハル之レ必ス單行法ナラサルヘカラスト云フ大ナル理由アツテ然ルニアラスト雖モ能ク分限ヲ考ヘ体裁ヲ慮カレハ府縣會規則ニ追加センヨリハ單行法ヲ以テスルノ適當ナルヲ知ル何トナレハ本案ハ府縣會規則ニ依リ會議ヲ中止セシモノヲ更ニ內務卿ニ於テ之ヲ停止シ仍ホ府知事縣令ヲシテ此間ノ地方税ノ經費

豫算及徴收方法ヲ定メシムル等ノ權限ヲ確定スルニアリテ府縣會規則ヨリ一層上ニアル處分ナレハ單行法ヲ以テスルヲ是ナリトセリ又最後ノ布告案中云々ノ間アリ然ルニ本案ノ意ハ聯合集會シ又ハ往復通信スル兩個共ニ何等ノ名義ヲ以テスルモ之ヲ禁スルニアリト雖モ其但書ノ一方ニ專ラニシテ一方ニ專ラナラサルハ集會ハ輒スク他ニ名義ヲ假リ易ク往復通信ハ文字上ニ見ハレ判然辨シ得ヘキヲ以テ處分上ノ手續キニ於ルモ自ラ詳畧ノ差アリ請フ之ヲ領セヨ

○二十九番清邊 本官ノ本案ニ於ル敢テ其喜フ所ニアラス已ヲ得ス之ニ同意スルナリ元來府縣會規則及ヒ地方稅規則トモ法律ノ備ハラサルニアラス然ルニ尙ホ此ニ至ルハ未タ其精神ノ達セサルニ因

ルカ其世上風潮ノ動モスレハ汚下ニ流ル、ニハ寔ニ歎スヘキナリ茲ニ一二ノ質問アリ本案中府縣會規則第三十一條改正案ニ云々但區部郡部會ヲ開ク地方ニ於テハ七日以内延期スルコトヲ得トアリ普通一般ハ三十日以内トシ特ニ區部郡部會ヲ開ク地方ニ於テ七日以内ノ延期ヲ許シ之ヲ別殊ニスルハ何ノ理由アツテ然ルヤ又本案中第四款ニ方ル布告案中ニ「府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルコトヲ許サス云々」トアリテ末項ニ「前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサルモノハ集會條例第十三條ニ依テ處分ス」トアリ其會議ニ關スル事項トハ何等ノ事柄ヲ指稱スルヤ元來府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徴收方法ヲ議スルニアレハ會議ニ關スル事項ト云ヘハ其本

務ヲ議スルモノ、如シ而シテ之ヲ他府縣會議員ト聯合集會スル何事ニアルカラ知ラスト雖モ假リニ一例ヲ設ケテ云ヘハ我カ地方警察費ハ五萬圓ナルモ或ル地方ハ若干萬圓ニシテ同一ナラストシ其得失上ニ就テ會議スル若キモノナルカ孰レニモ會議ニ關スル事項ト云ヘハ即チ地方稅ニ係ハルモノナラン然ルニ之ヲ罰スルニ集會條例第十三條ニ依リ處斷スルハ其權限外ニ出ルモノト認メテ然リヤ或ハ政治又ハ國事ニ關スルモノナリトシテ然ルアリヤ本案冒頭ニ府縣會議員會議ニ關スル事項トアリテ末文ニ集會條例第十三條ニ依テ處分ストアルヲ以テ疑義ナキ能ハス敢テ之ヲ問フ

○番大森三番鍾一二十九番ノ質疑ニ答ヘン第三十一條改正布告案ニ一般ノ府縣會會期ヲ三十日以内トシ其區部會郡部會ヲ開クモノニ七

日以内ノ延期ヲ許セシハ普通府縣會ト同視スルコト能ハサルヲ以テナリ何トナレハ區部郡部合シテ同日ニスルモアリ又或ハ分ツテ隔日ニスルモアリ其會ヲ分ツ毎ニ議案ノ數モ隨テ加フ之レ七日以内ノ延期ヲ許ス所以ナリ又本案最後ニアル布告案ノ府縣會議員會議ニ關スル事項ト云ヒシハ即チ其職掌内ノコトナリトス若シ然ラストセハ別ニ之ヲ處スルノ法律アリ何ソ府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テト端的直指センヤ夫レ府縣會ハ法律ノ制定スル所ナリ然レトモ府縣聯合集會ハ未タ法律ノ認許スル所ニアラス之ヲ濫リニ聯合集會シ私カニ往復通信スルハ施政上最モ恐ルヘキ弊害アラントス故ニ政府ハ治安ヲ保全スル爲メ之ヲ禁止セントス

○長岡三番護美本官ハ本案ヲ以テ一時便宜ノ爲メ已ヲ得ス發表スルモ

ノナリトス其地方官ニアツテハ少シク補益スル所アラシムモ知ルヘ  
 カラスト雖モ其根源ヨリ論スル時ハ明治十一年初メテ府縣會ヲ設  
 置セシ以來幾分ノ利益ヲ得シヤ啻ニ利益ナキノミナラス徒ラニ官  
 民抵抗スルノ一機具タルニ過キサレハ孰レノ國ヲ問ハス其國政  
 体上ノ構成ニヨリ地方政事ノ方針ヲ指畫スルニアリ特リ我府縣會  
 ハ其據ル所ナク或ハ政体ノ分裂スルカ如キ看ナキニアラス之レ其  
 好結果ヲ得サル所以ナラン是ヲ以テ本官ハ二十三年國會開設ノ期  
 ニ達スルマテハ之ヲ中止スルモ可ナラントス然ルニ政府ハ現況ヲ  
 觀察シテ其害アルモノヲ制シ仍ホ世ニ益アラシメントスルモノ、  
 如シ然レトモ既往ヲ以テ將來ヲ量レハ或ハ害アツテ利ナカラシ  
 シ一朝中止ノ令出ントスルアラハ本官ハ喜ンテ之ヲ贊成セン此事

タル本官固ヨリ意見ノアルアリ他時其機會ヲ得ハ辨述セントス今  
 日ハ姑ク之ヲ忍ヒ涙ヲ拂フテ本案ヲ議決セン其逐條ニ渉ル所見ノ  
 如キハ第二讀會ヲ俟テ述ントス

○二十三番 箕作麟祥

本官ハ大体上ニ於テ本案ニ同意ス某議官ハ府縣會  
 議員ノ弊風ヲ痛論スルノ餘リニヤー跳シテ府縣會ヲ廢止セント云  
 フト雖モ本官ハ然ラス其弊風ノ生スルアラハ隨テ之ヲ矯正シ終ニ  
 順良ナル會議ニ至ラシムルノ道ヲ求ムルヲ以テ至當ナリトス何ソ  
 俄然之ヲ廢止スヘケンヤ既ニ明治十四年十月十二日ノ勅諭ニモ「嚮  
 ニ明治八年ニ元老院ヲ設ケ十一年ニ府縣會ヲ開カシム此レ皆漸次  
 基ヲ創メ序ニ循テ歩ヲ進ムルノ道ニ由ルニ非サルハ莫シトアリ次  
 ニ又將ニ明治二十三年ヲ期シ議員ヲ召シ國會ヲ開キ以テ朕カ初志

ヲ成サント区トアリ其末ニ於テ人心進ムニ偏シテ時會速ナルヲ競  
 フ浮言相動カシ竟ニ大計ヲ遺ル是レ宜シク今ニ及テ謨訓ヲ明徴シ  
 以テ朝野臣民ニ公示スヘシトアリテ之ヲ要スルニ國會開設ハ輕舉  
 急劇ニナスヘカラス故ニ先ツ元老院ヲ設ケ府縣會ヲ開カシメ着々  
 歩ヲ進メ終ニ二十三年ニ至ラハ初メテ國會ヲ開キ玉ハントスルハ  
 夙ニ聖意ノアル所ナリ然レトモ人心ハ動モスレハ躁進事ヲ誤ルナ  
 シトセス之レ其時ニ應シ宜シキニ隨テ法制ヲ立ツヘキモノニシテ  
 而カモ聖慮ヲ奉体スル所以ナリ豈其大害アルニアラスシテ容易ニ  
 府縣會ヲ廢止シテ可ナランヤ故ニ本官ハ斷シテ云フ府縣會ニシテ  
 弊ノ生スルアラハ之ヲ正シ法ノ備ハラサルアラハ之ヲ補ヒ以テ二  
 十三年國會開設ノ基トナスヘシト蓋シ大体上ニ於テ意見此ノ如シト

雖モ今日府縣會議員ノ其本分ヲ踰ヘ輒スク喙ヲ大政上ニ容レ妄リ  
 ニ論ヲ國勢上ニ及ホシ己レ自ラ國會ヲ立ントスルカ如キ僭越ノ舉  
 止ナシトセス寔ニ國家ノ不祥人民ノ不利ナリ之カ治ヲ爲スモノ焉  
 ソ見テ等閑ニ過スヘケンヤ是レ府縣會規則等ノ毎ニ改正追加アル  
 所以ナリ本案布告ヲ要スル其淵源ヲ探レハ畢竟府縣會議員ノ之ヲ  
 求メテ取ルノ理ニシテ政府ノ好テ施ス所ニアラス之レ本官カ此改  
 正アルヲ已ヲ得サルノ處分ナリトシテ同意スル所以ナリ抑モ本案  
 中府縣會規則第六條二項追加ノ如キハ無フシテ足り有テ殊効ナキ  
 ヲ知ル何トナレハ府知事縣令ニシテ代理人ヲ出ス能ハサルノ理ナ  
 シ若夫裁判上代理人ヲ出スヘカラス必ス本人出頭スヘシトアルヨ  
 リ以外ハ何人ヲ問ハス己レニ代ルニ代理人ヲ以テスルヲ得況ンヤ

地方長官タル府知事縣令ニ於テヲヤ然ルヲ殊更ニ此明文アルヲ要スルハ唯丁寧反覆事ヲ重ヌルニ過スト雖モ別ニ害アルニアラサレハ強テ異議ヲ唱ヘサルヘシ其府縣會規則第三十一條ノ改正ハ之ニ反シ其必須ナルヲ信ス方今府縣會ノ實況ヲ察スルニ會期ニ三十日ノ制アルモ稍徒法ニ屬シ其延會セサルナキハナク甚シキハ百日ニモ及フアリテ其弊害タル終ニハ論議ノ職掌外ニ馳驅シ之ヲ大ニシテハ政治ノ障礙ヲ爲シ小ニシテハ各個人民ニ無用ノ費ヲ負ハシム之ヲ制限スルハ理ノ當ニ然ルヘキ所ニシテ之レ特リ我國ノミニアラス歐米各國ニ於ルモ大抵此例ヲ用ユ既ニ佛國ノ如キハ一年二回ノ州會アリテ其州法タル一ハ之ヲ開クニ必ス八月ヲ以テシ一ハ便宜ニ任ス其八月ニ開クモノハ州長ヨリ豫算ノ議案ヲ發シ其開會期

限ヲ三十日以内トシ之ヲ過スヲ禁セリ其臨時會ニアツテモ八日ヲ超ユヘカラサルナリ佛國ノ如キ共和民主國ニアツテモ其會期ヲ嚴制シ以テ人民ニ無用ノ費ナキヲ經畫セリ況ンヤ我國ノ府縣會ヲヤ又本案中終末ナル布告案ノ府縣會議員カ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルヲ禁止スル處分法ニ於ルモ亦當然ナリトス夫レ府縣會議員ハ地方稅ヲ議スルノ當務ニシテ權茲ニ止ル然ルヲ他府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルトキハ終ニハ各府縣會議員齊シク會同スルアルモ亦知ルヘカラス果シテ然ラハ恰モ是レ各府縣會議員カ私權ヲ以テ國會ヲ構造スルニ類似シ甚タ謂レナキ所業ノミナラス其爲サシムヘキモノニアラス故ニ府縣會規則第一條ノ法文ニ據リ行政上ノ處分ヲ以テ之ヲ禁スルモ誰カ敢テ不可

ナリトセンヤ然ルヲ尙ホ鄭重ニ此布告ヲ以テ明告セハ益人民ヲシテ府縣會議員ノ本務ノアル所ヲ知ラシムルニ足ラン蓋シ聯合集會ト往復通信トハ其性質ニ於テ異ナル所アリ佛國ノ例ヲ案スルニ同國ニテハ千八百七十年迄ハ兩者共ニ之ヲ禁セシモ千八百七十一年共和政治トナリシ以來纔カニ道路鐵道病院學校等ノ五六件ノ諸費ヲ議スル爲メ其關係アル州郡ト通信スルヲ許セリ今日ノ佛國ヲ以テスルモ尙ホ然リ我國ニシテ豈之カ檢束ナク自任ニ放下シテ可ナラシヤ若シ實際已ヲ得サル事項アリテ之ヲ爲サントセハ宜シク行政官ノ手ヲ經テ之カ措置ヲ爲スヘキナリ爰ニ內閣委員ニ問ントスルハ本布告案中ニ云々府知事縣令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルトキハ其解散ヲ命シ必要ナル處分ヲ執行スヘシトアルモ意義明瞭

ナラス例ヘハ東京府大阪府ノ議員聯合シテ其中央ナル名古屋ニ集會スルトセハ其地方官タル愛知縣令ニ於テ認メテ禁令ヲ犯スモノトスルトキハ之カ解散ヲ命スルニアリヤ又其必要ナル處分ヲ執行ストハ警察官ニ命令シテ處置セシムルノ意ナリヤ却テ思フ此禁令ヲシテ充分ノ効力ヲ有セシメントセハ尙ホ明記スヘキモノナキニアラサルカ如シ然ルヲ敢テ他岐ニ涉ラス一意此ニ止メシモ亦以テ不可ナシ唯恐ル府縣會議員中事ヲ好ムモノ毎ニ他人ヲ煽動シ又能ク法網ヲ脱シ其範圍外ニ意ヲ逞シウスルアリ本案ニ於ルモ亦其轍ヲ踏ムアラシコトヲ是ニ由テ之ヲ觀レハ本年ハ之ヲ以テシ來年ニ至ラハ仍ホ取締上一層嚴密ナル法案ノ下付アルニ逢フモ亦知ルヘカラス然リト雖モ主務官ニテ此法案ヲ以テ足レリトスルアラハ本

官等別ニ修正ヲ加フルヲ要セサルナリ

○外三番大森  
鐘一

二十一番ノ質疑ハ畧其見解ノ如シ必要ナル處分トハ警察官ニ命シテ事ヲ行ハシムル等ニアルモ未タ以テ其一事ニ止マルニアラス凡ソ解散ヲ執行スルニ於ル必ス臨機應變ノ處置ナカルヘカラス本案ノ意ハ廣ク指畫スルニアリ

○二十三番九鬼  
隆一

本官ノ見ル所ニ於ルモ方今府縣會ノ弊習多キヲ知ル之ヲ防遏セン爲メ本案ノ布告アラントスルハ至極適當ナルヲ以テ之ニ同意ス而シテ二十一番ノ說ノ如ク此改正アルヲ以テ充分其目的ヲ達シ得ヘキヤ否ヤノ點ニ至テハ本官ト雖モ未タ心ヲ安ンスル能ハス既ニ過キ來リシ跡ヲ見レハ年トシテ府縣會ニ關スル規則ノ改正ナキハナク其趣意モ亦一張一弛寬嚴ノ間ニアリテ本年一月

ノ改正ノ如キハ其意本案ノ意ト反對ナリ故ニ本官ハ當時ニ於テ不同意ナリシカ今ヤ果シテ此改正アルニ逢フ時機稍後レタルノ歎ナキニアラスト雖モ到底此ノ如クナラサルヲ得サルヘシ其逐條修正ノ如キハ第二讀會ニ於テセン茲ニ本官ハ別ニ二三ヶ條ノ建議ヲ爲サントス乃チ府縣會規則第十三條ニ府縣ノ議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歳以上ノ男子ニシテ其府縣内ニ本籍ヲ定メ滿三年以上住居シ云々トアル滿三年以上トハ本籍ヲ定メテ後滿三年以上ト云フノ意カ或ハ住居スル滿三年ナルカ茲ニ疑ヒアリ之ヲ改正シテ判然タラシメントス是レ其一ナリ又現行法府縣會期ノ三十日トアルモ衆議ニ依リ日限ヲ伸ルヲ得ルノ制ナルヲ以テ屢延會スルアレハ弊害モ亦隨テ生スルヲ憂フト雖モ府知事縣令ハ之ヲ如何トモス



ル能ハス然ルニ此改正アルニ至テハ確然會期ノ三十日ト定マルヲ以テ復タ今日ノ如ク無用ノ事端ヲ論スル違マナカルヘシ然レトモ一方ニ於テハ或ハ必要ナル事項ニシテ未タ議了セサルニ早クモ會期ノ盡ントスルカ如キ場合ナキヲ保セス故ニ本官ハ地方稅措置上ニ於テ折衷ヲ加ヘ簡約ニ議了スルノ道ヲ講セントス乃チ國庫ヨリ若干金額ノ支出ヲ請テ之ヲ補ヒ又地方稅規則第二條稅目中ニハ國稅ニ入ルヘキモノアリ先ツ之カ程度ヲ定メ仍ホ地方稅支辨ニ係ル費目中ニ於テ府縣會ニ放任シテ爲サシムヘカラサルモノアリ之ヲ處センニハ其徵收方法ハ府縣會ヲシテ議定セシムルモ費額ハ行政官ノ定ムル所ニ依リ復タ之ヲ議定スルノ限ニアラストセントス是レ其二ナリ又府縣會規則第三十四條國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ

規則ヲ犯スト認メラレ内務卿ヨリ議員カ解散ヲ命セラレタルトキハ第三十五條ニ依リ九十日以内ニ議員ヲ改撰スルニアリト雖モ實ハ止タ名ノミニテ多クハ前ニ解散ヲ命セラレタル者更ニ改撰議員ニ當ルヲ以テ議場ニ莅メハ依然最前ノ說ヲ持シ尙ホ更ニ甚シキモノアラントス是レ之ヲ防クノ法ナカルヘカラヌ本官ハ解散ヲ命セラレタル說ヲ提出セシ發議者及ヒ其說ニ左袒セシ賛成者ヲ併セテ解散ヲ命セラレタル時ヨリ滿四年間ヲ經サレハ再撰セラル、コトヲ得サルノ法トセントス是レ其三ナリ以上豫メ其端緒ヲ開キ更ニ第二讀會ニ於テ述ル所アラントス

○議長 時正午ヲ過ク午餐ノ爲メ退場シ午後更ニ續會ヲ開カン散會スヘシ

午後零時十分閉場

午後ノ會ハ二十三日ニ延會ス

元老院會議筆記明治十五年十二月二十三日

禁傍聽

○第三百六十五號議案 府縣會規則中改正ノ儀地方稅規則中追加改正ノ儀府縣會規則第三十三條第一項ノ儀府縣會議員聯合集會等禁止ノ儀

○第三百六十六號議案 府縣會規則改正ノ儀 第一讀會 十二月二日ノ

續及第二第三讀會

議長 佐野常民

出席議員

- |    |       |
|----|-------|
| 一番 | 神田 孝平 |
| 三番 | 長岡 護美 |
| 四番 | 岩下 方平 |
| 五番 | 鍋島 直大 |
| 六番 | 林 友幸  |

七番	稅所	篤
八番	伊集院兼寬	
九番	渡邊	洪基
十番	柴原	和
十一番	津田	真道
十三番	鍋島	直彬
十四番	河瀬	真孝
十五番	伊丹	重賢
十六番	大久保	一翁
十九番	楠本	正隆
二十番	海江田	信義

內閣委員  
一番 外參事院議官安場 保和

廿一番	箕作	麟祥
廿二番	榎村	正直
廿五番	津田	出
廿六番	關口	隆吉
廿七番	黑田	清綱
廿八番	西	周
廿九番	渡邊	清
卅一番	鍋島	幹
卅二番	河田	景與
卅四番	三浦	安

内閣委員番外二番參事院議官井上 毅

同 番外三番參事院議官補大森 鍾一

午前第十時開場

○議長 本日ハ昨日開會セシ第三百六十五號及第三百六十六號議案ノ第一讀會ノ續會ヲ開カン例ニ遵ヒ發議スヘシ

○廿二番榎村正直 本案ハ時勢已ヲ得サルニ出ルモノアリトスルヲ以テ之ヲ贊成ス昨日來各位ノ質問ニヨリ領會スル所多シト雖モ尙ホ未ダ一事ノ解セサルモノアリ本案中地方稅規則第四條二項追加案ニ「地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年度間ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取り府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年度間之ヲ施行スルコトヲ得」トア

ル其年度間ト云フハ是レ會計年度ノ意ナリヤ或ハ初年ニ於テ云々トアルヲ以テ見レハ數年季ト云フカ如キ歷年度ソコトヲ云シヤハ惑ナキ能ハス若シ會計年度ノコトニアラサレハ茲ニ之ヲ加フルモ其用ナキカ如シ一回ノ説明ヲ得ン

○番外三番大森 鍾一 廿二番ノ問ニ答ヘン蓋シ是レ會計年度ナリ其數年ヲ期シテ施行スルモノハトアル數年ハ會計年度ノ數年度間ノ意味ナリト了解アラシコトヲ望ム

○卅四番三浦 安 本案ハ大體ヲ可トス各位ノ論議又ハ内閣委員ノ説明ヲ聞クニ其歸着スル所ハ即チ規則法令ハ備ハラサルニアラスト雖モ府縣會議員タルモノ世ノ風潮ニ漂ヒ動モスレハ地方官ニ抗抵スルヲ事トスト云フニ止マレリ然ラハ則チ一ニ規則上ニアラスシテ

其人物如何ニアルナリ府縣會舉テ惡キニアラス二三ノ不良者アリ  
 テ他ヲ煽動教唆シ其弊茲ニ及フヲ知ル故ニ本官ハ此二三ノ煽動者  
 ヲ處スルノ法ヲ設クルヲ必要ナリト考フ某議官モ見ル所アリテ既  
 ニ其說ヲ述フ本官固ヨリ同感ナリ案スルニ府縣會規則第三十四條  
 ニ會議中國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ム  
 ルトキハ內務卿ハ何レノトキヲ問ハス議員ノ解散ヲ命スルコトヲ  
 得トアリ是レ內務卿ハ單ニ議員ノ解散ヲ命スルニ止マルカ如キモ  
 苟クモ國安ヲ害スルト認ムルトキハ即チ其罪ノ罰スヘキナリ何ソ  
 特リ解散ニ止マランヤ然ルニ之カ議員タルモノ一旦解散ニ逢フモ  
 第三十五條ニ依リ九十日以内ニ議員ヲ改撰スルトキハ更ニ前回ノ  
 議員再撰ニ與ルモ妨ケナキノ法律ナルヲ以テ終ニ其實効ヲ見ル能

ハサルナリ譬ヘハ彼石川縣會議員ノ如キ放言以テ縣令ヲ誹議シ大  
 ニ議會ノ風儀ヲ傷ル然レトモ必ス議會ヲ舉テ然ルニアラス唯兩三  
 輩ノ煽動者アリテ然ルナリ然ルニ第三十四條ノ明文ニ依リ內務卿  
 ハ既ニ之カ解散ヲ命スルモ其改撰ノ期ニ遭ハ、忽チ先ノ兩三輩モ  
 亦議場ニ出ルヲ得此ノ如クンハ焉ソ能ク議會ノ體面ヲ一變スルコ  
 トヲ得ンヤ故ニ本官ハ之ニ臨ムニ一期或ハ二期其者ヲシテ再撰ニ  
 當ルヲ得サラシムル法ヲ以テセントス蓋シ本官ノ欲スル所恐ラク  
 ハ規則ノ缺漏ニアラサルナキヲ得ンヤ之ヲ補充スルハ寔ニ當然ナ  
 ルモノト信ス宜ク第二讀會ヲ待テ此說ヲ提出スヘシ抑法律規則ヲ  
 シテ年々變更アラシムルカ如キハ官民共ニ不便多シ若シ其時機ヲ  
 得ハ悉ク之ヲ釐革スルニ如カス蓋シ今日ハ恰モ其時機ナリ故ニ充

分之力調査ヲ爲シ一時ニ幾個ノ改正ヲナスヘキナリト雖モ其時日ナキヲ奈何セン然レトモ前陳ノ如キ追加ハ必ス之ヲ爲サンコトヲ希望ス茲ニ府縣會規則第六條二項ノ追加ノ如キハ敢テ必須ナルモノニアラス何トナレハタトヒ此明文ナキモ府知事縣令ハ嚴然己レノ所見ヲ持シ其代理人ヲ出スニ於テ何カアラン若シ之ヲ肯ンセサルモノアラハ法ニ據リテ處分センノミ然ルヲ特ニ此追加ノ如キハ人或ハ云ハン之レ其議員ニ逼迫セラレ已ヲ得サルヨリ事茲ニ及ヒシナラント是レ府知事縣令ノ爲メニ取ラサルノミナラス又以テ政府ノ威權ヲ損スルモノトス故ニ之ヲ廢スルカ或ハ修正シテ庇護スル所ナカルヘカラサルナリ其他ハ大抵異議ナシトス唯內閣委員ニ質サントスルモノハ本案中府縣會規則第三十三條二項修正案ニ府

縣會ニ於テ若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ府知事縣令ハ更ニ其議定ヲ要セス内務卿ニ具狀シ其認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得トアル其議定スヘキヲ議定セストハ如何ナル場合ヲ云ヘルヤ凡ソ府縣會ハ府知事縣令ヨリ發スル議案ハ悉ク議定スヘキモノナルニ其議定スヘキ議案ヲ議定セスト云フカ如キハ或ハ別ニ法律上議定スヘカラサル議案ナシトシ難キ場合アラン故ニ若シ議會ニ於テ法律ニ合ハサルモノト認ムルトキハ之ヲ議定セサルモ可ナリトナスカ然ラサレハ議定セサル議案ハナカルヘキノ道理ナリ又會期內ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ云々トアリ其會期ノ三十日ナルモノモ七日ナルモノモ均シク此中ニ含有セシヤ併セテ之ヲ問フ

○外三番大森 卅四番ノ間ハル、所ノ「府縣會ニ於テ若シ法律上議定

スヘキ議案ヲ議定セス」トアルハ本案改正ニ係ルモノニアラス即チ  
現行ノ法文ナリ故ニ本員ハ之カ辨明ヲ爲スノ限リニアラス而シテ  
這般改正ノ主眼トスル所ハ又ハ以下其會期內ニ議案ヲ議決シ終ラ  
サルトキノ處分法ヲ明カニスルニアリ今此會期內ニハ第三十一條  
第三十二條トモニ包有スルカト問モノ、如シ是レ其通常會ノ三十  
日ト臨時會ノ七日ト共ニ此內ニ含蓄スルノ意ナリ

○一番神田孝平 本官モ大體ニ於テ異論ナシ本案中府縣會規則第六條二  
項追加ノ如キハ其已ヲ得サルニ出ルモノナルヘシト雖モ甚々體裁  
ヲ得サルモノトス凡長官タルモノ事故アリテ缺席スルトキハ即チ  
代理人ニ託シテ之ヲ行ハシムルハ尋常一樣ノコトナリ固ヨリ怪ム

ニ足ラス何ソ事毎ニ之ヲ掲載スルヲ要センヤ然ルニ内閣委員ハ府  
縣會規則中或條ニハ明カニ代理人ヲ以テスルコトヲ示セリ既ニ一  
ニアリテ一ニナキニヨリ紛議ヲ生スト云ヘリ果シテ然ラハ其或條  
ノ代理人ト明記アルモノヲ削リ前後同一ナラシメテ可ナラン蓋シ  
此事タル本案外ノモノナレハ別ニ意見書ヲ提出シテ其削除說ヲ主  
持スルモ可ナリ或ハ此第六條二項ノ追加ヲ廢棄スルモ亦可ナラン  
到底此明文ヲ掲クルハ姑息ノ處分ニシテ而モ害ヲ後來ニ遺スモノ  
ナリトス且府縣會規則第三十一條但書ニ「區部郡部會ヲ開ク地方ニ  
於テハ七日以内延期スルコトヲ得」トアルハ其府縣會議員ノ議スル  
所ナルヲ以テ此ノ如クナルカ如キモ果シテ是レ府縣會ニ屬スヘキ  
モノナリヤ否ヤニ於テ疑ヒナキ能ハス蓋シ東京府ノ如キハ十五區

六郡ニシテ十五區共ニ區會アリ又聯合會アリ然ラハ則チ此區部會ナルモノハ十五區ノ聯合會ニ屬スヘキ性質ノモノニアラサルナキヲ保センヤ今其性質ヲ論スルニ於テハ各所見異ナリト云フト雖モ若シ府縣會議員ノ議スヘキ性質ノモノニアラスト云ヘハ更ニ日時ヲ要スルハ勿論ナレハ恐ラク七日間ノ能ク辨スル所ニアラサルヘシ但シ其性質タル未タ歸着スル所ヲ究メサルヲ以テ容易ニ斷言スルコト能ハサレハ仍ホ之ヲ調査シ果シテ修正スヘキモノアラハ第二讀會ニ於テ之ヲ述ントス其餘ハ僅ニ文字ノ修正ニ止マレリ宜シク逐條議ヲ待テ提出スヘシ要スルニ本案疑フ所ノモノハ大抵各位ノ質問アリテ内閣委員ノ答辨ニ盡セリトス

○卅一番鍋島

本案ニ對シ聊カ意見ノアル所ヲ述ントス抑モ明治十

一年初メテ此新法ヲ發行セシ以來年毎ニ多少ノ改正アラサルハナシ實ニ是レ已ヲ得サルニ出ルモノト雖モ思フテ此ニ至レハ未タ曾テ歎セスンハアラス蓋シ其創始ノ時ニ方テヤ大ニ上下官民ノ調和ヲ助ケ盛ンニ國家經綸ノ道ヲ開カントスルニアリシモ爾來世ノ風潮ハ意想ノ外ニ奔セ動モスレハ府縣會ハ地方行政官ト抵抗ノ兆ヲ呈シ反對ノ結果ヲ見ントス既ニシテ此改正ノ域ニ至ルモ亦時勢ノ然ラシムルモノナランカ事既ニ然リ故ニ其取締ヲ嚴密ニシテ政府當初ノ目的ヲ達セントス是レ本案ノ下付アル所以ナリ前ニ内閣委員ノ陳述ノ如ク方今地方ノ形狀ハ實ニ謂フヘカラサルモノアリ其尋常ノ意見ヲ以テ之ニ修正ヲ加フルカ如キハ決シテ益ナカルヘシ故ニ一層之カ取締ヲ嚴密ナラシムルカ然ラスンハ寧ロ放棄シテ不



間ニ置クカノニ途アルノミ蓋シ其取締上ニ付昨日來廿三番州四番ノ意見アリ若シ夫レ年末餘日ナキノ時ニアラサレハ充分論究シテ眞理ヲ求ムヘシト雖モ既ニ日昏路遠キノ感アリ以テ意ヲ盡シ難シ各位幸ニ好修正ノ提出アラハ之ヲ賛成セン本官モ一二ノ意見ナキニアラス其期ヲ得ハ之ヲ述フヘシ

○九番渡邊洪基

府縣會ノ今日ニ其弊害多キハ本官モ實驗シテ之ヲ知レリ蓋シ此原因タルヤ他ナシ即チ地方行政官ハ依然官選ニ出特リ議會ノミ立憲政治ノ式様ヲ摸スルカ爲メ行政官ト議會トノ意思毎ニ相投セス利害モ亦從テ相反ス是ニ於テ事々物々相支離シテ恰モ圓整方柄ノ狀ヲ爲セリ是レ理勢ノ然ラシムル所ナリ故ニ今日ニ於テ其宜シキヲ制セントセハ府縣會ノ地方ニ於ル猶ホ元老院ノ政府ニ

於ルカ如クセハ可ナランノミ苟モ其性質ヲ變シ組織ヲ更メサル以上ハ竟ニ軋轢ヲ免レサルナリ是レ一ニ府縣會議員ノ然ラシムルノミニアラス抑又府縣會制度ノ宜シキヲ得サルニ由ルナクンハアラズ今ヤ府縣會ヲ廢止シテ更ニ府縣廳ニ參事院ノ如キヲ設ケ以テ其政務ニ參セシムヘシ即チ之ヲ上乘トス若シ此ノ如ク爲ス能ハスンハ已ヲ得ス一部分ノ制度ヲ改ムヘシ但シ其一部分ニ於ルモ改正スヘキモノ甚タ多シ今回改正法案ノ如キモ亦其一部分中ニ於テ些少ノ矯正ヲ爲サントスルニ過キサルモノナリ故ニ此案ノ如キ所謂目下ノ急ヲ救フ姑息法ナルヲ以テ假令此ノ如ク成立スルモ決テ之カ爲メ將來弊ノ生セサルヲ保任スルコト能ハス苟クモ精査熟議セハ特リ廿三番州四番ノ說ノ如キニ止マラスト雖モ其充分ヲ求メハ關

涉極メテ廣ク急劇ノ際ニ在テハ終ニ局ヲ結ヒ難シトス是ヲ以テ先  
ツ本案モ一部ノ改正ト看テ是認シ唯文字ノ修正ニ止メテ可ナルノ

○十番柴原和

本官ハ昨來數條ノ質問ヲ爲シ悉ク内閣委員ノ答辨ヲ得

シモ仍ホ疑ヒノ存スルモノアリ蓋シ彼ノ地方稅規則第五條二項ノ  
追加ノ如キハ其要用ヲ知ラサル旨ヲ述ヘシニ内閣委員ハ之ニ答ヘ  
テ謂ラク例ヘハ戸長職務取扱費ノ如キ臨時不足ヲ生シ已ヲ得ス補  
充ヲ徵スルモノアルヲ以テナリト本官ハ意ラク前年度決算ノ場合  
ニ於テ此ノ如キ事ハ萬之レナキヲ信スト雖モ此ニ一步ヲ讓リ假リ  
ニ之レアリトスルモ既ニ地方稅規則第四條ニ其年七月ヨリ翌年六  
月迄ヲ一週年度トナシ府知事縣令ハ其年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支

辨スヘキ經費ノ豫算並地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナ  
シ其府縣會ノ議決ヲ取り其年五月ヲ以テ内務卿及大藏卿ニ報告ス  
ヘシト掲ケタルカ如ク翌年度ハ即チ二月迄ニ經費ノ豫算ヲ立三月  
ノ通常會ヲシテ議決セシムルニ在リテ前年度ト云ヘハ其年七月ニ  
決算スルモノナリ此場合ニ方リ若シ五拾圓乃至百圓ノ少額ナル不  
足ノ生スルアラハ府知事縣令ハ其都度臨時會ヲ開キ之ヲ議セシメ  
ンカ決シテ斯ノ如キ迂路ヲ取ラサルヘシ本案ノ如クンハ少數ノ金  
額ハ猶可ナリ若シ其金額大ニシテ五拾萬圓ニモ垂ントスルニ至ラ  
ハ明年通常會ニ及フ迄何ヲ以テ之ニ充ントスルヤ恐ラクハ之ニ充  
ルモノナカルヘシ而シテ此際ニ在テハ其何ノ道ニ出ントスルヤヲ  
問ヘハ必スヤ其少數ナルモノハ豫備費ニ據リ稍巨額ニ上ラントス

ルモノハ乃チ常置委員ニ議決セシメテ便宜事ニ從フナラン然ラハ則チ何ソ故ラニ此追加ニ據ルヲ待ンヤ又別段ニ府縣會規則第六條二項ノ追加アリ是レ第三十一條ノ上ヘ追加セラレントスルノ意ナランカ然レハ此布告案ノ本文左ノ通トアル字ノ下ニ追加改正スト置クニアリヤ併セテ之ヲ問フ

○外三番 大森 鐘一 地方稅規則第五條二項ノ追加ニ關スル十番ノ質問ハ理ニ於テハ或ハ然ラン然レトモ本案ノ前年度ト云フハ既ニ決算ヲ經タル時ヲ云フナリ譬ヘハ十五年度ノ通常會ニ報告スヘキモノハ十三年度ノ決算報告書ニシテ十五年度ヲ議スル會議ニ於テハ十四年度ノコトヲ當年度ト云フヘキノ理ナリ然ラハ則チ十三年度ニアラサレハ十五年度ヨリ前年度ト指スヘキモノナキヲ知ラン本案ノ

前年度ト云フモ十五年度ヨリ見レハ十三年度ノコトニシテ其決算ノ場合ニ於テ已ヲ得サル事故アリテ不足ヲ生シ之カ補充費ヲ徵收スル議案ヲ以テ十五年度ノ通常會ニ發スルモノヲ云フナリ若夫十四年度ノ決算ノ如キハ則チ十六年度ノ會議ニアラサレハ報告スルヲ得サルモノナリ請フ此意ヲ領セラレントヲ望ム又府縣會規則第六條二項追加ノ間ハ恰モ十番見解ノ如シトス

○十番 柴原 和 再ヒ内閣委員ノ辨明ヲ得ルモ地方稅規則中其言ヲ証スヘキモノヲ見ル能ハス唯其第四條ニ其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一週年度トナシ云ヤトアルモ是レ翌年度ナリ例ヘハ十五年ナレハ其年七月ヨリ來ル十六年六月迄ノ謂ヒナリ此例ヲ推及セハ前年度ト云ヘハ即チ十四年七月ヨリ十五年六月迄ノ事タルヲ知ルヘシ然ラ

ハ則チ前年度ナル十四年七月ヨリ十五年六月迄ノ經費ハ其六月ニ至レハ仕上ケトナリ七月ニ及ヘハ決算ヲ得ヘシ或ハ工事ノ次年度ニ跨ルモノ等ハ第四條二項ニ依リ處分ヲ爲スヘキニアリ但シ斯ル決算ハ固ヨリ尋常ノ例ニアラサレハ稍遲延スヘキモ其普通ノモノハ必ス其年七月ノ決算ニナルヘキナリ然ルニ之ヲ明年三月ニ決算スト云フハ抑モ何ノ規則ノ然ラシムル所ナリヤ本官特リ其出所ヲ知ラサルノミナラス其言ノ如クンハ此間ヲ支フル爲メ譬ヘハ五拾圓ノ不足ヲ生スルモ忽チ臨時會ヲ開カサルヲ得サル場合アルニ至ラン其他工事ノ長キニ渉ルモノハ明年通常會ニ於テモ決算整理セサルヘシ之ヲ如何セントス

○外番三番 大森 鍾一

府縣會規則第六條明文ニ依ラハ自ラ了解アルヘシ即

チ府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ云々トアリテ十三年度六月迄ノ分ヲ十五年ノ三月開ク所ノ通常會ニ報告スルモノヲ云フナリ若夫十四年ノ通常會ナランニハ尙ホ是レ十三年度中ナルヲ以テ未タ決算報告スル能ハサルナリ七月決算成ルモ故ラニ臨時會ヲ開クヲ要用トセス明年通常會ノ初メニ之ヲ報告シ不足ノ生スルアラハ更ニ其補充費ヲ徵收スヘキ議案ヲモ發シテ可ナリトス請フ之ヲ了セヨ

○卅四番 三浦 安

本官特別ノ建議アリ本案ニ對シ昨日來各位ノ質問アリ内閣委員モ之ヲ辨明スルアルモ情ヲ本案ノ大體ヲ考フルニ此改正タルヤ唯是一時目前ノ急ヲ救フニアリテ遠ク根源ニ遡リ夫ノ弊害ノ由テ生スル所ヲ究メシモノニアラサルヲ信ス故ニ直ニ第二讀

會ニ移ルモ其修正ヲシテ本案ノ面目ヲ改メ各位ト共ニ満足ナル場  
合ニ至ラシムルハ甚タ難カルヘシ且本案中ノ各款ニ於テハ自ラ緩  
急輕重ノ別アルモ大本タル府縣會規則ノ如キ八年々歳々改正ヲ加  
フルヲ以テ一般人民ノ感觸スル所殊ニ多シトス之レ深ク意ヲ用ヒ  
スンハアルヘカラス今ヤ歳末ニ際シ時日切迫スト雖モ唯之ヲ已ヲ  
得サルニ附シテ輕々議了スルハ本官等ノ意思ニアラス況ヤ本院ノ  
體面ニアラサルヲ抑モ明治十一年甫メテ此法ヲ布ク時ニ方ツテ  
ヤ誰カ豫メ今日ノ如キ弊害ヲ生スルヲ思ハンヤ蓋シ當時ニ在テハ  
人民ヲシテ地方ノ經濟ニ與ラシメハ恭順以テ事ヲ議スヘキモノナ  
ラントシ即チ德義上ノ負荷ヲ重クシ規則上ノ檢束ヲ緩ウセシニ何  
ソ圖ラン自由ノ說ハ以テ人民ノ秩序ヲ亂シ權利ノ論ハ引テ官府ヘ

抵抗スルノ具トナル之レ時勢ノ然カラシムル所ナルヘシト雖モ亦  
政府急進事ヲ執ルノ致ス所ニアラサルナキヲ得ン所謂上ノ好ム所  
下之ヨリ甚シキ者アリ政府タルモノ能ク始終ヲ顧ミ一法令ヲ出ス  
モ苟モ爲スヘカラサルナリ特ニ府縣會規則ハ前ニモ述ル如ク年毎  
ニ之ヲ改正スルハ畢竟其初メヲ慎マサルニ由ル因テ本官ハ此年末  
匆忙ノ際ニ於テ急劇之ヲ議了スルヲ不可トス何トナレハ時日ナキ  
ニ制セラレ其改ムヘキヲ改メス其施スヘキヲ施サスシテ罷マント  
スルノ恐レアレハナリ要スルニ本案ハ來年一月十五日頃迄ニ發表  
セハ敢テ三月ノ通常會ニ妨ケナカルヘシ然ラハ則チ此調査修正モ  
來月十日ヲ限り猶豫ヲ與ヘ此間熟慮審案シテ充分ノ改正ヲ加ヘ布  
告スルニ至ラハ所謂始メヲ慎シムノ道理ニ適ヒ輕忽事ヲ施スノ譏

リヲ免カレ政府人民共ニ福利ヲ得ントス既ニ九番ノ改正セントナ  
 ラハ其根源ヨリスヘシト云フハ頗ル我意ヲ得タリトス願クハ全部  
 付託修正委員ヲ置キ來ル一月十二日ヲ期シ之ヲ議定センコトヲ望  
 ム

○番一 安場保和

三十四番ハ本案ヲ議スル二年末ニ際スルヲ以テ心思  
 安ンセス若シ輕々議定ノ後悔アルモ及ハサルヘシ須ラク之ヲ來年  
 一月十二日迄ニ延シ優々熟議スヘトノ建議アリ是レ鄭重事ヲ視ル  
 ノ意ニシテ政府人民ノ爲メ慮カル所ノ深キハ甚タ感服セリ然ルニ  
 原來本案ヲ以テ本院ニ下付セラレタルハ日仍ホ遠キニアラサルモ  
 政府此案ヲ起艸セシ以來ノ日數ヲ回想スレハ殊ニ多日ヲ費シタリ  
 先ツ始メ地方官ヲ召集シテ其意見ヲ問ヒ次テ參事院ノ會議ニ付セ

リ蓋シ同院ニ於テモ斯ル事宜ナルヲ以テ特ニ用意ヲ加ヘ點燈之ヲ  
 議シ殆ント夜半ニ及ヒシコト屢ハナリシ然レトモ討議盡キサル間  
 ハ復タ之ヲ如何トモスヘカラス漸ク議シ了ルモ又奏聞ハ手續ヲ經  
 ル等拮据龜勉爰ニ至リシモ實ニ容易ノ事ニアラス然ルニ建議者ハ  
 一月十五日迄ニ發表セハ三月ノ通常會ニハ支障ナカルヘシト云フ  
 モ實際ニ於テハ大ニ然カラズ乃チ通常會ノ前ニ方リ此法律ニ依リ  
 テ豫算ノ調査スヘキモノアリ又會期ニ先ツテ決算ノ報告ヲ爲ス等  
 種々手續アリ況ンヤ會期ヲ更ニ三十日ト確定セラル、ニ於テヤ故  
 ニ本員等ハ本年中ニ之ヲ發表スルモ仍ホ月日ニ有餘ナクシテ地方  
 官ノ事ヲ處辨スルノ及ハサルアランコトヲ恐ル況テヤ來年一月十  
 五日後ニ布告セントスルニ於テヤ願クハ各位非常ノ勵精ニ賴リ

必ス本年中ニ發表アルノ手續ニ至ランコトヲ是レ敢テ等閑ナル議定ヲ欲スルニアラス又餘日ナキ苦境ヲ察セサルニアラスト雖モ本案ノ此ニ經過シ來リタル跡ニ就テ云ヘハ前ノ如ク寔ニ已ヲ得サルモノナリ各位ハ深ク地方ノ事情ニ通曉スルモノナリ必ス速成ノ適切ナルヲ知ラン因テ來年一月二日ヨリノ休暇ヲモ辭セス之ニ從事スト云ヘル建議ヲ止メ晩クモ本月廿五六日迄ニハ議定上奏アランコトヲ願フ

○十番柴原和

三十四番ノ特別ノ建議ニハ同意スルコト能ハス本案ニ既ニ不是ナルモノアラハ須ラク修正スヘシ然レトモ假令修正セント欲スルモノアルモ其事議案外ニ涉ルトキハ如何トモスル能ハサルハ勿論ナリトス向ニ廿一番ハ本案ノ如クニシテ發表スルモ來年

ニ至ラハ仍ホ改メサルヲ得サルモ知ルヘカラスト云ヘリ本官モ亦然リトス其改メサルヲ得サルニ於テ之ヲ改ムルハ何ノ不可カララシ本第六條二項追加ノ如キハ其要用ナルヲ知ラス故ニ本官ハ之ヲ削ルモ可ナラント思ヘリ然ルニ内閣委員ハ縷々地方ノ實況ヲ説キ到底之ヲ維持セントス蓋シ改正ノ斯ニ及ハントスルハ必ス地方官ノ申請ニ因ルナルヘシ他ノ事項ニ於ルモ實地必用ナリトスルアラハ何ソ默止セン必スヤ申請スル所アル可シ而シテ改正ノ當否ハ豫メ期シ難キモノアリ若シ弊害アルニ逢ヘハ從テ之ヲ改メテ可ナリ故ニ本案ニ對シ修正セントセハ直チニ修正センノミ本官モ既ニ二三ノ修正意見アリ第二讀會ヲ待テ之ヲ提出スヘシ要スルニ本案以外ノ措置ハ姑ク行政官ノ調理ニ委シテ可ナリ此ノ如クニシテ歲

月ヲ經ハ竟ニ廿三年國會開設ノ期ニ達シ大ニ更革スル所アルヘシ然ルニ本官仍ホ質問ノ未タ足ラサルアリ地方稅規則第五條二項是レナリ向ニ內閣委員ノ答辨ヲ得シモ尙ホ疑ヒヲ解クコト能ハス其第七條ハ十四年ノ改正シテ府知事縣令ハ一週年度ノ出納ヲ計査シ精算帳及計表ヲ製シ翌年通常會議ノ初メニ於テ之ヲ府縣會ニ報告シ然ル後內務卿及大藏卿ニ報告スヘシトセシモ其前ハ「府知事縣令ハ毎年七月ニ至リ其一周年度間ノ出納ヲ計算シ精算帳及計表ヲ製シテ內務卿及大藏卿ニ報告スヘシ且翌年通常會議ノ初メニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシトアリテ七月ニハ必ス決算スルノ精神ナリ但シ法律ノ文意ハ改正ニ因テ前後セシモ其精神ニ於テハ依然トシテ變スルコトナキヲ信ス抑モ前年度ノ決算ヲ府縣會ニ報告スル

ノ意ハ曾テ府縣會ノ議定セシ如ク費目ヲ支辨シ毫モ濫用ナキノ信ヲ其議會ニ示スモノナリ故ニ若シ豫算費目中ニ不足ノ生スルアラハ乃チ常置委員ヲシテ時々之ヲ議セシメテ可ナリ然ルニ本案ノ如ク明年ノ通常會ヲ待タントスルニ至テハ其間不足セシ金額ハ何レヨリ支出セントスルヤ固ヨリ官金ヲ以テ補フ可キニアラス然ラハ則チ地方稅ノ内ヲ以テセンカ若シ地方稅ヲ以テセントナラハ公然其明文ヲ規則上ニ掲ケサルヲ得ス此ノ如キハ到底其處分法ノアルヲ知ラス豈偶爾トシテ明年ノ通常會ヲ待ツヲ得ヘケンヤ蓋シ本官ノ職ニ地方官ニ在リシトキハ敢テ豫算ニ不足ヲ生セシコトナシト雖モ仍ホ豫備費ニ十萬圓ヲ要セリ是レ臨時會ヲ開カントスルモ議員ノ隔地ニ在ルモノ多キヲ以テ便宜此ノ如クセシナリ東京ノ如キ



ハ議員近傍ニアリ此配慮アルヲ要セサルヘシ敢テ問フ本案ノ如ク  
 明年ノ通常會ヲ待ツモノトセハ其間不足セシ金額ハ何ノ費途ヨリ  
 之ヲ支出セントスルヤ

○番二番井上  
 外二番毅

十番ノ疑點ハ七月ノ決算ニ於テ既ニ不足アルヲ知り  
 翌年三月通常會議決迄ノ間ハ何ヲ以テ其空隙ヲ補フヤト云フニ在  
 リ是レ十四年五月乙第二十七號内務大藏兩卿達地方稅豫算及精算  
 順序第五條第四節ニ前節ニ反シ甲年度ノ實費ニ不足ヲ生スルトキ  
 ハ乙年度ヨリ繰替精算ヲ了ス可シ而シテ右繰替ノ金額ハ丙年度ニ  
 於テ乙年度ニ償還スヘキモノトストアルニ基キ決算ノ場合ニ於テ  
 若シ費用ノ不足ヲ生スルコトアラハ其不足ハ當年度事業ノ爲メニ  
 設備セシ資金ヲ假用シテ之ヲ完闕シ以テ翌年度ニ償還スルヲ例ト

セリ故ニ若シ當年度ノ金額ヲ以テ繰替使用スル能ハサルコトアラ  
 ハ地方長官ハ銀行等ヨリ一時之ヲ借入レ支辨スルコトモアルヘク  
 其他種々ノ方法ヲ以テ之ヲ補フコトヲ得ヘシ即チ第五條二項ノ追  
 加ハ其補充費ヲ徵收スル處分法ヲ立テタルモノナリ

○三番長岡  
 護美

卅四番建議アリ本案規則ノ改正ハ重事件ナレハ緩々之  
 ヲ議セント云フハ本官モ同感ナラサルニアラス既ニ參事院ニテモ  
 其決議ニ至ルマテハ多クノ日數ヲ費シタリト云ヘリ例ヘハ同院ニ  
 テ二十日間ヲ經シモノナレハ本院ニ於ルモ同日數ヲ要スルハ自然  
 ノ理ナリ故ニ之ヲ議スルニ相當ノ日數ヲ以テセンコトヲ望ムハ敢  
 テ怪シムヘキニアラス然レトモ今日ノ形勢ニ因リ本案ノ急決ヲ欲  
 スルハ實ニ已ヲ得サルナリ復タ平素ノ看ヲ以テシ難キモノアリ是

レ卅四番ノ建議ニ對シ全部付託修正委員ヲ置ント云フ一半ニ同意ナルモ來年一月十日迄之ヲ延期セント云フノ一半ニハ同意スルコト能ハス故ニ本官ハ時機ヲ圖リ別ニ建議スル所アラントス

○九番 渡邊 洪基 卅四番ハ前ニ縷々建議ノ意ヲ陳へ本案ノ議定ヲ延期シ修正委員ノ調査ニ付セント云フニ方リ其發言中本官ヲ以テ本案發表ニ不滿アルモノト思惟セシカ如キ語氣アリ是レ豈本官ノ意ナラシヤ本官ハ府縣會全部ノ組織ニ於テ大ニ意見アルモ奈何セン今日行ハレ易カラサルヲ知ル故ニ寧ロ其一部分ト雖モ改正スヘキハ改正スヘシトセリ本案ノ改正タル所謂一部分中ノ最モ先ニ生セシ已ヲ得サルモノ、第一着ナリ仍ホ第二第三ノ改正スヘキモノアルヘシト雖モ現ニ發生セシモノハ即本案ナリ然ルヲ本案ヲ置キ未タ發

セサル第二第三ニ推及ホシ併セテ同時ニ發表セントスルハ第一急施ヲ要スヘキモノアルニモ拘ハラズ知ラス識ラス緩慢ニ付スルノ憾ナキ能ハス要スルニ本官ハ特ニ施政ノ目的ヲ神速ニ達セントスルヲ以テ修正委員ヲ置ヲ欲セス況ンヤ許多ノ日限ヲ延期スルニ於テヲヤ直ニ逐條議ニ移ランコトヲ望ム

○十一番 津田 眞道 本官ハ昨日第一讀會ニ於テ本案ヲ可トスルノ意ヲ表セリ茲ニ卅四番ハ特別建議ヲ爲シ是ヨリ修正委員ヲ設ケ來年一月十日ヲ期シテ之ヲ修正セント云フ本官固ヨリ首肯スルコト能ハス果シテ卅四番ノ建議ノ如クンハ其結果如何ナル効驗アラントスルヤ畢竟本案ノ修正ニ止マルニアラスヤ苟クモ規謨ヲ大ニシ府縣會廢スヘシト云フカ如キ英斷ノ建議ナランニハ或ハ之ニ同意スルモ

知ルヘカラスト雖モ僅々タル本案ノ修正ノ爲メ偶マ一月一日大禮服ヲ着シテ并年ノ式ヲ演ヘ他ハ新年宴會ノ休暇ヲモ爲サス汲々トシテ之ニ從事セントスルハ抑モ其意ヲ解スルコト能ハス故ニ本官ハ一字一句ノ修正ヲ要セス本案ノ如ク決定セシコトヲ望ムルナリ

○廿二番 榎村正直 本官モ卅四番ノ建議ニ同意スルコト能ハス向ニ本官ノ本案ニ對シ已ヲ得ス賛成スト云ヒシハ故アルナリ抑モ今日府縣會議員ナルモノヲ見ルニ府縣會規則第一條ノ明文ニ遵ヒ謹勉其分ニ居ルモノ太々鮮ナク甚タシキニ至テハ或地方ノ如キ橋梁ノ架設ニモ常置委員ハ之ニ臨驗スト云ヘリ他之ニ類スルモノ多々アラン是レ議員ノ本分ヲ踰ヘ行政事務ニ闖入スルモノニシテ其弊害舉テ云フヘカラスト終ニ第六條二項ノ如キ追加アラントスルノ域ニ至ル

寔ニ歎息ニ堪サルナリ然ルニ卅四番ハ一月二日ヨリ修正ニ着手セント云ヘリ若シ其意見ノ如クスルモ果シテ實地ニ適スルノ法案ヲ得ヘキヤ否ヤ未タ知ルヘカラスト豈其事ノミヲ以テ満足スルヲ得ンヤ故ニ本官ハ以爲ラク爾後年々改正スルモ仍ホ可ナリト苟クモ其改ムヘキヲ以テ之ヲ改ムニ何ノ憚ル所アラシク建議ハ不可トス

○議長 發議盡キタリト認ムルヲ以テ第一讀會ハ茲ニ畢リ卅四番ノ建議ヲ衆議ニ問ントス念ノ爲メ卅四番ニ質サン果シテ建議ノ如ク決セハ必ス期スル所ノ日限ヲ以テ之ヲ了セントスルヤ或ハ修正成ルヲ告ケハ其前ト雖モ開會スルノ意ナリヤ

○卅四番 三浦安 事彼ニ及ハスシテ成ルアラハ何ソ故ヲニ修正委員ヲ置クヲ望マン本官ハ年々歳々斯ク改正アルヲ好マサルヲ以テ此機

會ニ投シ充分ノ改正ヲ加ヘ務メテ向來繁雜ナカラシメンコトヲ切望セリ今其意思ヲ達センニハ假令修正委員ヲ置クモ年内ノ能ク辨了スル所ニアラサルヘキヲ計リ其餘裕ヲ與ヘテ一月十日迄トセシニ過キサルナリ

○議長 卅四番ノ建議ハ本案外ナル府縣會規則地方稅規則ニモ涉ラントスルモノ、如シ然ルニ本案以外ノ條項ヲ修正セントセハ先ツ意見書ヲ提出シ議定上奏ノ後更ニ下付セラル、ニアラサレハ如何トモスル能ハス是レ規則ノ存スル所ナリ故ニ今日假令修正委員ヲ設クルモ其權限ノ定マル所アルハ勿論ナリトス

○卅四番 三浦安 今日府縣會ノ弊害タル實ニ甚タシ故ニ之ヲ規正セントスレハ勢ヒ他條ニ涉ルナキヲ得ス然レトモ敢テ全體ヲ改正セン

トスルノ意ニハアラサルナリ

○議長 卅四番ノ意ハ屢改正スルヲ不可ナリトシ此際充分ノ調査ヲ遂ケ正確ナル改正ヲ欲スルニアリ然ルニ本案急決ヲ要スルノ旨ハ既ニ内閣ヨリ通牒アリテ各位ノ疾ク知ル所ナリト雖モ尙ホ之ヲ衆議ニ問フ卅四番ノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者一人

○議長 卅四番ノ建議ハ少數ナルヲ以テ消滅ス

○三番 長岡護美 本官特別ノ建議アリ本案ハ急決ヲ要スルヲ以テ全部付託修正委員ヲ置キ内閣委員ト協議シ調査修正セント欲ス

○議長 三番ヨリ全部付託修正委員ヲ置キ之ヲ修正セントス三番ノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二人

○議長 三番ノ建議ハ少數ナルヲ以テ消滅セリ

○外番一番安場保和 本案ノ急施ヲ要スルハ既ニ内閣ヨリ通牒アリテ各位

ノ知ル所ナルヘシ何ソ本員ノ喋々ヲ要セン願クハ午後直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ム

○議長 内閣委員ノ請求ニ應セントスルモノハ起立スヘシ

起立者十九人

○議長 多數ナルヲ以テ直ニ第二讀會ヲ開クニ決ス時午ニ近シ午餐ノ爲メ退場シ午後更ニ開會セン散會スヘシ

午前第十一時三十五分閉場

午後第一時開場

出席

廿三番

九鬼 隆一

退席

五番

鍋島 直大

同

七番

税所 篤

同

二十番

海江田信義

○議長 午前ノ續キ第三百六十五號議案ノ第二讀會ヲ開カン例ニ依リ發議ス可シ

書記官 森山茂 朗讀

布告案

明治十三年四月第拾五號布告同年十一月第四拾九號布告府縣會規則中左ノ通改正追加ス

○十番柴原和

本官ハ今朗讀ヲ經シ布告案中追加ノ二字ヲ削ラントス其意見タルヤ即チ第六條二項ノ追加ヲ削除スルニ在リ抑モ現行法第六條ニ於テ「府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ府知事縣令ニ說明ヲ求ムルコトヲ得若シ異見アルトキハ議長ノ名ヲ以テ直チニ內務大藏兩卿ニ上申スルコトヲ得」ト在リテ府知事縣令ノ說明ス可キヲ掲載セリ是レ府知事縣令自ラ之ヲ爲スモ可ナリ或ハ他ノ代理人ヲシテ是ヲ爲サシムルモ可ナリト云フニ在リテ其順序ハ乃チ第六條ノ全文ニ於テ盡セリトス前會內閣委員ノ說明ニ依レハ第六條ニ於テ單ニ府知事縣令ニ說明ヲ求ムルコトヲ得ト在リテ代理人ヲ以テスルノ文字無キカ爲メ府縣會ハ府知事縣令自ラ之ヲ爲ス可ク決シテ代理人ヲ以テ

爲ス可カラサル者ナリトシテ是非ニ拘ハラス府知事縣令ノ出席ヲ請求シテ止マス是レ職トシテ代理人ヲ以テスルノ明文無キニ由ル故ニ今其代理人ヲ以テスルモ可ナリトスルノ意ヲ示サントシテ第六條ニ二項ヲ追加スト言ヘリ然ルニ是等ノ說ヲ爲スハ畢竟府縣會議員ノ誤認ヨリ出ル者ニシテ府知事縣令ト雖モ別ニ百目千手ヲ具フル人ニ非ラサレハ地方百般ノ事務毎ニ悉ク自身ノ爲シ得ヘキ所ニ非サルハ勿論ナリ故ニ其疾病事故有ルトキハ則チ代理人ヲシテ己レニ代リ之カ說明ヲ爲サシムルハ當然ノコトニシテ毫モ疑ヒノ容ル可キ莫シ然リ而シテ其府縣會ニ於テ之ヲ肯セス強テ逼迫スルカ如キハ則チ其爲シ難キヲ知テ故サラニ之ヲ爲ス者ニシテ蓋シ其失ハ府縣會ニ在リ是ヲ以テ府知事縣令ハ斷乎トシテ回省セス己レ

自ラ之ヲ爲シ或ハ代理人ヲシテ之ヲ爲サシム可シ若シ夫レ府縣會ニ於テ不服ヲ唱ヘ政府ノ裁定ヲ請フニ至ルモ自カラ其誣ヘカラサル者アリ又何ノ妨ケカ之有ラシ然ルヲ此ノ如キ追加ヲ以テスルハ獨リ法律ノ體裁ヲ失スルノミナラス府知事縣令ノ職權ノ幾分ヲ減殺スルニ似タリ是レ此追加ヲ削除セント欲スル所以ナリ然リ而シテ若シ此說行ハル、ニ至ラハ則チ現行法第六條ニ「云々府知事縣令ニ說明ヲ求ムルコトヲ得若シ異見アルトキハ議長ノ名ヲ以テ直チニ內務大藏兩卿ニ上申スルコトヲ得」ト在ルハ畢竟其用ナキカ如シ何トナレハ府知事縣令ハ府縣會ノ問ヒニ答ヘサルノ理萬々有ルコト無ケレハナリ然ルニ說明ヲ求ムルコトヲ得ト有ルトキハ其間稍ヤ雙方ニ圭角ヲ生セシムルカ如キ嫌ヒ有リ依テ本官ハ更ニ之ヲ十

一年第十八號布告府縣會規則第六條ノ如ク「府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ク」ト改正セント欲ス果シテ斯クセハ其說明ニ方リ代理人ヲ以テスルト否トニ論ナク緩急取捨ハ此中ニ存シ文意深奧甚タ其可ナルヲ信ス前陳削除說ニ附帶シ併セテ此ニ此說ヲ提出ス

○廿二番 榎村正直 賛成ス本官固ヨリ第六條二項ノ追加ヲ欲セス且本修

正ノ成立スルニ至ラハ十番豫陳ノ如ク現行法第六條末文ニ屬スル「府知事縣令ニ說明ヲ求ムルコトヲ得」云々ノ文字ハ殊ニ要用ナラサルヲ以テ併セテ之ヲ修正ス可キナリ

○議長 十番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○九番 渡邊洪基 本官ハ原案ノ如ク第六條二項ヲ追加スルノ是ナルヲ信

ス前會ニ於テ陳述セシ如ク本案ノ改正追加ハ實ニ已ムヲ得サルニ  
出ル者ナレハ到底其完全ヲ望ム可カラス之ヲ物ニ喩フルニ猶ホ障  
子ノ貼補ニ於ルカコトク其破レ間ヨリ風塵ノ入ラントスルヲ防ク  
ニ止マル者ナリ苟クモ其意ヲ達セハ息ム其全部ヲ改良スルカ如キ  
ハ今回ノ布告案ニ向テ望ムヘキニ非ス然ルヲ發議者ハ第六條二項  
ノ追加ヲ以テセハ府知事縣令ノ職權ヲ殺クニ似タリト言ヒ或ハ又  
現行法第六條中「府知事縣令ニ說明ヲ求ムルコトヲ得」ト在ルヲ除  
キ十一年第十八號布告府縣會規則第六條ニ復セサレハ反テ雙方安  
着セスト言ヘリ若シ果シテ其說ノ如ク第六條ノ末文ヲ刪除セハ說  
明スルコト無クシテ可ナランカ是レ決シテ然ラサル可シ苟クモ議  
案ニ對シ說明ヲ求メント欲スル者アラハ則チ明文ノ有無ニ關セス

府縣會ハ之ヲ質問セサルヲ得ス府知事縣令モ亦其間ニ答フルハ實  
ニ其當務ナリトス然ラハ則チ其間アル毎ニ之ニ答フ可キハ勿論ニ  
シテ唯其府知事縣令自カラ之ヲ爲スカ或ハ代理人ヲ以テ爲スカノ  
異同アルノミ故ニ現行ノ如ク之ヲ明掲シテ以テ之ヲ爲サシムルニ  
何ノ不可カ之レ有ラン既ニ之カ說明ヲ爲ス可キ者タリ其自ラ之ヲ  
爲スト其代理人ヲシテ之ヲ爲サシムルトヲ規定スルハ固ヨリ其所  
ニシテ之カ爲メ府知事縣令ノ威權ニ關スルノ理ハ毫モ有ルコト無  
シ況ンヤ第廿七條ニ代理人ヲ以テスル云々ノ文字アルヲヤ畢竟府  
知事縣令ノ親シク出場ヲ求ムルハ事ノ大小本末ヲ知悉セサル者ト  
シ半ハ愚弄心ヨリ起生スル者ナリ故ニ明カニ之ヲ掲載シテ以テ實  
際ニ支吾無キヲ期ス可シ然ルニ府知事縣令ノ代理人ハ次席ニ在ル



書記官當ニ其任タルヘシト雖モ其書記官モ亦凡百ノ事務悉ク曉通スルヲ必然トセス其實主務ノ屬員ニ非ラサレハ詳細ニ説明ヲ爲ス能ハサル者多シ是レ其主任者ヲ以テ代理人ト爲スノ已ヲ得サル者ナリ蓋シ制法上ヨリ看來レハ或ハ事理穩當ナラサルカ如キモ慣行上大抵番外委員ヲ以テ代理人即チ説明者ト爲スノ實アルニヨリ姑ク之ヲ恕シテ可ナリ是レ本官ノ第六條二項ノ追加ヲ可トシ併セテ現行法第六條ヲ變更ス可カラスト爲ス所以ナリ若シ夫レ現行法ニ對シ任意ニ修正說ヲ提出スルヲ得ハ則チ本官モ亦該法第六條中「若シ異見アルトキハ議長ノ名ヲ以テ直チニ内務大藏兩卿ニ上申スルコトヲ得」ト在ル文字ノ如キハ特ニ要用ナキノミナラス大ニ事ヲ好ムノ弊害ヲ誘起スルノ嫌ヒ有ルヲ以テ之ヲ刪除ス可キ者ト認ムル

モ今回ノ改正タル所謂敗障ヲ貼補スルカコトキ者ナルカ故ニ眞ニ已ヲ得サル部分ノミニ止メ敢テ他ニ涉ラサルナリ

○一番神田孝平

本官ハ現問題說ニ對シ半ハ之ヲ賛成シ半ハ不同意ヲ唱フルニ在リ請フ之ヲ述ン夫レ本案中第六條二項ノ追加ヲ削ラントスルハ固ヨリ問題ト同論ナリ其現行法第六條「府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト在ル十數字ヲ削ラント云フカ如キハ大ニ其意向ヲ異ニセリ蓋シ十番ハ説明ヲ求ムルヲ得ルト云フヲ削リ却テ第六條二項ヲ削ルノ意ニ副ント云フ本官ハ第六條ヲ依然トシテ存シ仍ホ第六條二項ヲ削ルヲ至當ナリトス抑モ府縣會ノ前年度ノ出納決算報告書ヲ受ケ府知事縣令ノ説明ヲ求ムルハ正當ノ道理ニシテ其明文ヲ掲クルモ亦正當ノ道理ナリ歐洲國會アル國々ノ例規ニ徵スル

モ其要用ニシテ而モ重大ノ事タルヲ知ル我國ニ於ルモ府縣會無ク  
ンハ止ム苟クモ府縣會アル上ハ道理ノ正當ト認ムル者ハ之ヲ掲ケ  
テ以テ府縣會ハ之カ説明ヲ求ムルヲ得府知事縣令ハ之ニ應シテ説  
明ス可キ者タルヲ明示スルハ理ノ當ニ然ルヘキ所トス且ツ之ヲ削  
レハ府縣會議員ヲシテ議權ヲ減殺スル者ト認メシメ從ツテ人民ニ  
不快ノ思想ヲ懷カシム可シ是レ本官ノ一ハ以テ道理上ナカル可カラ  
サルヲ信シ一ハ以テ處分上安セサル者アリト爲ス所以ナリ其第六  
條二項ヲ削ラントスルハ全ク之ニ反ス府知事縣令自ラ説明スルヲ  
欲セサルトキハ即チ代理人ヲ以テ之ヲ爲スハ至當ノ理ナリ何ソ故  
ラニ明文ヲ掲クルヲ要センヤ倘シ第廿七條ニ代理人ノ文字アリ彼  
此相合セサルヲ病メハ寧ロ第廿七條ノ代理人ノ文字ヲ刪除スルヲ

可ナリ之ヲ追加スルハ甚タ其體裁ヲ得サル者ナリトス

○廿九番 渡邊清

本官ハ問題說ニ同意ス本案第六條ノ二項ヲ追加スル  
ハ體裁上甚タ不可ナリト雖モ熟々其事情ヲ察スルトキハ之ヲ要ス  
ルノ已ヲ得サル者有ルニ似タリ之ニ反シ現行法第六條府知事縣令  
以下ノ文字ノ如キハ特リ體裁ヲ得サルノミナラス之ヲ要スルノ理  
由モ亦更ニ有ルコト莫シ畢竟此數文字ヲ存スルカ爲メニ遂ニ第六  
條二項ノ追加ヲ要スルニ至ル若シ此文字微リセハ敢テ追加ヲ須ヒ  
サル可シ然ルニ一番議官ハ第六條二項ノ追加ハ削ル可キモ現行法  
第六條ハ依然存ス可シトシ贊成ト不同意トノ意ヲ陳セリ本官ハ此  
說ヲ以テ甚タ奇怪ナリトス故ニ萬一ニモ問題說ノ成立セスシテ一  
番ノ說行ハル、カ如キコト有ラハ本官ハ更ニ第六條二項ノ追加ヲ

可トスルノ説ヲ唱ヘントス何トナレハ第六條府知事縣令以下ノ文字ヲ存スル上ハ遂ニ此追加ヲ要スルノ已ヲ得サル者アレハナリ故ニ寧ロ第六條府知事縣令云々ノ文字ト第六條二項ノ追加トヲ併セテ削ルノ優レルニ如カス

○三番長岡護美

本官ハ問題説ヲ賛成ス各國ノ法ヲ案スルニ佛國ノ如キハ地方長官臨場シテ辨明スルノ例ナリト雖モ未タ敢テ該規則中ニ議會ヨリ之ヲ求ム可キ明文アラス我府縣會規則中ニ此文字アルハ輕重本末ノ順序ヲ誤ル者ナリ蓋シ本官ノ全體ノ主義ヲ皇張セハ廿三年迄ハ府縣會ヲ中止ス可シトノ意ナルモ今俄ニ行ハレ難キヲ知ルヲ以テ漫ニ發言セサルノミ然レトモ或ル議官ノ如ク已ムヲ得サルヲ以テ同意スト云フカコトキハ本官ノ敢テ好マサル所ナリ抑モ

此第六條ノ追加タル條理上既ニ允當ナラス又各國ノ例規中ニ説明ヲ求ムルコト有ル莫シ然レハ則チ之ヲ追加セサルヲ可トシ併セテ現行法第六條府知事縣令以下ノ十六字ヲ削ルヲ當然ナリト信ス一番ハ半ハ問題ニ賛成シ半ハ之レニ不同意ナリト云フモ本官ハ恰モ一番ノ説ニ反對シ現行法第六條府知事縣令以下ノ十六字ヲ削ルコトヲ得ハ可ナリ若シ夫レ然ラスレハ必ス此追加ヲ存セントス

○十番柴原和

本官ノ説幸ニ問題ト爲リシニ賛成者中一ノ異説アリテ半ハ之ヲ賛成シ半ハ不同意ナリト云ヘリ斯ル賛成ハ之ヲ得テ甚タ迷惑ナリトス何トナレハ方今ノ形勢ハ固ヨリ尋常ナラス既ニ府縣會議員ハ各地方聯合集會セント企タツルヲ以テ之ヲ嚴制スルノ法令ヲ設ケサル可カラサルノ時ナレハナリ然ルニ瑣々タル現行法第

六條中ノ文字ヲ愛惜スルハ其何ノ故タルヲ知ラス或ル議官ノ之ヲ存シテ本案ノ追加ヲ削ラント云フハ本官ノ殊ニ憂苦ニ堪サル所ナリ又九番ハ第廿七條ニ代理人云々ト有ルヲ引用セシモ彼此原ト同シカラス蓋シ第廿七條ノ場合ハ將來ニ屬シ且我ヨリ議案ノ旨趣ヲ辨明スル者ナレハ府知事縣令親カラ之ヲ爲スモ可ナリ或ハ其大意ヲ筆記シテ代理人ニ託スルモ可ナリ之ニ反シ第六條ノ事項ハ既往ニ屬シ且議會ノ請求ニ應シ前年度ノ決算報告ニ就テ説明ヲ爲スニ在レハ事大小ト莫ク問ヒ有レハ必ラス之ヲ説明セサルヲ得ス而シテ府知事縣令ト雖モ悉ク之ヲ詳知シ其間ヒニ應スル能ハサル者アリ何トナレハ百般ノ事務皆主務ノ屬官アリテ常ニ之レニ委付シ長官ハ只其機軸ヲ執ルニ在レハナリ是レ本案第六條ノ二項ヲ削リ更

ニ同條府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得云々ノ文字ヲ削ラントスル所以ナリ若シ夫レ第六條二項ヲ削除スルニ決スルモ尙ホ第六條本文ハ依然トシテ存セント欲スルカ如キハ則チ地方ノ政務上ニ於テ大ニ便宜ヲ失フヲ以テ更ニ次會ヲ待テ第六條ノ二項ヲ回復シ而シテ別ニ修正說ヲ提出セサル可カラス

○廿一番

箕作麟祥

十番ノ修正ハ本案中第六條二項ノ追加ヲ削ラントス

ルノミナラス更ニ遡リテ現行法第六條中ノ文字ヲモ併削セントスルニ在リ本官之ヲ否トス何トナレハ第六條中假令ヒ代理人ノ文字ナキモ府知事縣令ハ斷然其代理人ヲ出シテ之ヲ辨明セシムルヲ得ルハ當然ナリトノ意ヲ以テ之ヲ削除セントナラハ其說或ハ理ナキニ非スト雖モ其之ヲ削除スルハ却テ現行法第六條中ニ説明ヲ求ム

云云ノ文字アルヲ否トシ之レヲ删除セント欲スルカ爲メニ由來スル者ナレハナリ原來十一年第十八號布告府縣會規則第六條ニ依レハ唯タ前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受クトノミ有リテ其説明ヲ求ムル云々ノ文字ナシ故ニ府縣會ハ單ニ之ヲ受クルニ止マリ其府知事縣令ノ説明ヲ得ヘキヤ否ヤハ得テ分明ナラス然ルニ之ヲ分明ナラシメスンハ恐ラクハ府縣會ヲ創設セシ效用ナカラシ是レ獨リ府縣會ノ議權ノ此ニ及ハサルノ遺憾アルノミナラス府知事縣令モ亦其説明セント欲スルモ得サルカ如キ嫌ヒ有リ是レ共ニ本意ニ背ク者トス故ニ十三年ノ改正ニ方リ特ニ此字句ヲ掲ケシ者ニシテ即チ兩者ノ情意ヲ通暢セシメント欲スルニ外ナラサルヲ信ス此字句ノ必用ナル既ニ此ノ如シ然リ而シテ今俄然之ヲ削除シ彼レヲシテ遂

ニ其權利ナキカ如キ看アラシメテ可ナランヤ然リト雖モ其之ヲ削ルハ則チ府縣會ヲシテ其説明ヲ求ムルノ權利ナカラシムルニ在リト言ハ、是レ自カラ別論ナルモ既ニ此字句ヲ削リ而シテ尙ホ我ニ於テハ其説明ヲ爲スト云フニ至リテハ幾ント解スル能ハス畢竟第六條ノ要タルヤ議會ヨリ前年度ノ出納決算ニ對シ其説明ヲ求ムルトキハ府知事縣令ハ之ニ應シテ辨明ヲ予ヘカメテ其信用ヲ固ウスルニ在レハ尙ホ將來ニ於テモ宜シク議會ニ満足ヲ與フルノ手段ヲ盡スヘシ若シ夫レ今ニシテ此必用ノ字句ヲ削ラハ或ハ説明ノ如何ニ依リ動モスレハ輒チ府知事縣令ト議會トノ間ニ葛藤ヲ生シ紛議ノ絶ユルコト無カラシ何トナレハ説明ハ兩者意見ノ異同ヲ辨知シ而シテ遂ニ意ノ合セサルトキハ之ヲ内務大藏兩卿ニ上申スルノ路

ヲ開キ從ツテ葛藤ヲ解キ紛議ヲ斷ツノ媒助ナレハナリ然ルニ始メヨリ其説明ナクンハ彼我情意ヲ通暢シテ異同ヲ詳知スルニ由シナシスル要用ノ文字ナルニ拘ハラス一抹之ヲ削リ其説明ヲ曖昧模糊ノ間ニ付セントスル如キハ特リ道理ニ適セサルノミナラス大ニ惡結果ヲ醸生スルニ至ラン且ヤ本案ヲ議スルニ當リ已ヲ得ス現行法ニ牽連シテ修正ヲ爲スハ一概ニ不是ト爲シ難キモ特ニ急施ヲ要スル法案ナレハ務メテ議論ヲ本案ニ止メ現行法ニ涉ル莫カラントヲ望ム況ンヤ問題ノ如クンハ完全ナル現行法ニ瑕瑾ヲ生スルノ恨ミ有ルヲ要スルニ第六條府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得トノ明文ノ存スル上ハ代理人ヲ以テスルモ可ナリトノ一項ヲ追加シ以テ其精神ヲ發揮タラシムルヲ可ナリトス是レ豈一ニ第廿七條ニ代

理人ヲ以テスルノ明文アリテ而シテ第六條ニ之レ無キカ爲メ府縣會ノ異論ヲ來スヲ病ムノ故ナランヤ本官ノ切ニ慮ル所ノ者ハ府知事縣令ト府縣會トノ間ニ無用ノ紛擾ナキヲ欲スルニ在ルナリ苟クモ雙方ノ平穩ヲ圖ラハ寧ロ法律ニ明文ヲ掲クルノ正確ナルニシカス況ンヤ又此追加ハ第廿七條代理人云々ニ照應シ以テ前後體裁ヲ一ニスルノ可ナル有ルヲヤ是レ本官ノ第六條二項ノ追加ヲ可トシ斷然第六條現行法ノ府知事縣令云々ノ字句ヲ刪除セントスルノ說ヲ排斥スル所以ナリ

○廿九番 渡邊清

本官ノ問題說ニ同意ノ旨ハ既ニ之ヲ畧述セリ今反對論者ハ喋々其不可ナル所以ヲ辨スルモ本官ハ如何ニ此追加ニ對シ好修正ヲ加フルモ現行法第六條府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ

得トノ文字ヲ削ルニ非サレハ終ニ其徒爾ニ屬スヘキヲ信ス又反對論者ハ此説明ヲ求ムルコトヲ得トノ明文微リセハ府知事縣令ニ於テ如何ナル意見ヲ有スルモ到底之ヲ述ルコト能ハスト云ヘリ是レ甚タ解ス可カラサルノ說ナリ抑モ十三年ノ改正タルヤ今日ノ改正トハ自カラ其目的ヲ殊ニス蓋シ時勢ノ同シカラサルカ故ノミ看ヨト十三年ノ頃ハ頻リニ該會ノ議權ノ擴張ヲ圖ルノ意ヨリ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得若シ異見アルトキハ云々等丁寧反復進路ニ誘掖セシモ今ヤ議會ハ世ノ風潮ニ漂ヒ橫議憚ル所口無ク遂ニ各府縣會議員等聯合集會シテ何事ヲカ議セントシ政府モ亦治安ヲ保持スルカ爲メ新タニ法令ヲ設ケテ之ヲ檢束セントスルノ時ニ非スヤ是レ畢竟往時ト今日ト其勢ノ趣ク所ヲ異ニシ隨テ施政ノ目的モ

亦大ニ變更セサル可カラサル所以ナリ故ニ本官等ハ切ニ今日ニ適當ナル法律ヲ設ケントスルヲ以テ反對論者ノ言ノ如クナル能ハス今ヤ假令府知事縣令ニ説明ヲ求ムル云々ノ文字ナキモ議會ニ之ヲ求メントセハ之ヲ求ム可ク而シテ縣令ノ之ニ應セサル無キヤ必セリ又府知事縣令ニ於ルモ其意見アラハ之ヲ述ルニ何ノ憚ル所カ之レ有ラン斯ク論シ來レハ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得云々ハ實ニ無用ノ文字ニシテ適マ紛争ヲ誘起スルノ具タルニ過キス故ニ本官ハ云ヘリ第六條中云々ノ字句ヲ削除セハ此追加ヲ要セスシテ事ヤ缺クコト無ク其用餘レリト之ニ反シ第六條ヲ依然トシテ存シ副フルニ此追加ヲ以テスルカ如キハ或ハ議會ハ巧言ヲ設ケ其代理人ノ説明ヲ充分ナラストシ或ハ信用ス可カラストシテ是非ニ府

知事縣令ノ臨場ヲ強請スルカ如キ反動ヲ來サンコトヲ恐ル到底今日ノ事タル府知事縣令ト議會トノ間ニ能ク情意ヲ調和スルニ至ラハ其説明ヲ求ムルモ穩當ニ其意見ヲ述ルモ亦親切ナルヤ必セリ何ソ數文字ノ有無ニ關センヤ約スルニ本官ハ之ヲ删除セハ法律ノ完全ヲ得議會ノ靜穩ヲ保ツ可キヲ信シテ十番ノ修正說ニ左袒スル所以ナリ

○三十四番 三浦安

本官モ問題ニハ不同意ナリ現行法第六條ニ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得ト有ルヲ以テ新タニ第二項ヲ追加シ實際ノ便宜ヲ圖ルノ要用ナルハ廿一番之ヲ辨明シテ盡セリ本官固ヨリ第六條ハ依然トシテ存スルヲ可トス止タ少シク二項追加案ニ修正セント欲ス即チ「府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ」

ヲ府知事縣令ハ其委員ヲシテ之ヲ説明セシムルコトヲ得ニ作ラントス其理由ハ凡ソ議案ニ關スル事項タルヤ多クハ其主務者ノ擔任スル所ニシテ他人ハ之ニ專ラナラス故ニ特ニ委員ヲ設ケテ之カ説明ノ任ニ當ラシムルヲ常トス況ンヤ府知事縣令ノ代理人ト云ヘハ直チニ書記官或ハ課長タル者ノ之ニ當ラサレハ不可ナリトスルノ嫌ヒ有ルヲヤ寧ロ委員ト明記シテ其實際ニ適切ナラシムルニ如カス依テ本官ハ其期ヲ待テ之ヲ提出セントス

○十一番 津田眞道

本官固ヨリ本案ヲ可トス第六條ニ府知事縣令ニ説明ヲ求ムルコトヲ得云ヤト有ルハ是レ本色ニシテ府知事縣令ノ府縣會ニ對シ地方稅ニ係ル報告書ノ説明ヲ爲スノ重任ヲ有スルヤ言ヲ俟タス獨リ地方長官ノミ然ルニ非ス本院ノ議事ニ於ルモ行政長官



タル各省卿親ヲ此場ニ臨ミ之カ説明ヲ爲スハ相當ノコトニシテ他日國會ヲ開設スルニ至ラハ必ラス其議場ニ臨ミ之カ辨明ヲ爲スナラン若シ夫レ各省卿ニシテ之カ辨明ヲ爲ス能ハストセハ何ソ參事院議官ノ之ヲ能クスルノ理アラン況ンヤ他ノ議官補ヲヤ故ニ長官ノ之ヲ辨明スル能ハストノ説ハ殆ント不可思議ナリト云ハサルヲ得ス然リト雖モ今日ノ議會ハ未タ議事ニ熟セス府知事縣令モ亦百般ノ事務咸ナ諳記スルニ非ス故ニ已ヲ得ス此六條ニ二項ヲ追加シ以テ時ニ應スルノ務メヲ爲サントス向キニ九番ハ之ヲ敗障ノ貼補ニ比喻ヲ取りシモ本官ハ是レ猶ホ硝板障ノ破損ニ紙片ヲ以テ補理スルカコトク決シテ體裁ヲ得シ者ニ非サルモ止タ假リニ隙風ヲ防クノ手段ヲ爲スニ過キサル者トナス故ニ今回ハ先ツ本案ノ如クシ

府知事縣令自カラ説明ヲ爲サントセハ之ヲ爲シ書記官又ハ屬官ヲシテ代理人タラシメントセハ代理人タラシメテ可ナラン

○議長 討議已ニ盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン十番ノ修正説ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ十番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ本案ノ決ヲ取ラン之ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

第六條 二項

出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキハ府知事  
縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ

○十番柴原和

本官ハ向ニ第六條二項ノ追加ヲ削除スルノ說ヲ提出セ  
シニ少數ニシテ遂ニ消滅セリ然ルニ本案中若クハ其代理人之ヲ説  
明スヘシ云々ノ文字ハ穩雅ナラス事實適當セス依テ之ヲ修正シテ  
即チ出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキハ府知事  
縣令ハ其主任ノ吏員ヲシテ之ヲ説明セシムヘシト爲サントス果シ  
テ此ノ如クンハ府縣會ハ地方長官ニ對シ説明ヲ求ムルコトヲ得又地  
方長官ハ隨意其主任ノ吏員ヲシテ説明セシムルヲ得ヘシ凡ソ地方  
稅ニ係ル者ハ出納課ノ吏員之ヲ擔任シ若シクハ租稅課ノ吏員ノ專

掌スル者ニシテ要スルニ庶務ノ錯綜スル事端ノ多岐ナル地方長官  
ト雖モ逐一ニ之ヲ知悉スル能ハサル者アリ故ニ辨舌ノ巧ミナル者  
ヲ擇ミ或ハ温厚人意ニ適スル者ヲ以テスル等其事宜ニ由テ其任ニ  
當ラシメハ大ニ便法トス前キニ三十四番ハ委員ヲシテ説明セシム  
可シト修正セントノ豫陳アリ之ヲ本案ニ比スレハ素ヨリ可ナリト  
雖モ尙ホ少シク支障ナキ能ハス何トナレハ委員必スシモ事務ノ本  
末ヲ識得スル者ニ非ス寧ロ主任吏員ノ詳知ナルニ如カス特ニ委員  
ノ名稱タル衛生ニ學務ニ勸業ニ其用フル所多端ナレハ其何ノ委員  
タルヤノ惑ヒナキ能ハス到底之ヲ主任ノ吏員ト爲シ出納課若クハ  
租稅課ニ論ナク時ニ隨ヒ宜當ノ吏員ヲ選任スルノ切實餘裕アルヲ  
可トス願クハ贊成ヲ得テ問題タランコトヲ

○十六番 伊丹重賢 賛成ス

○議長 十番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○一番 神田孝平 本官モ代理人ノ文字ハ必ス修正セサル可カラスト思料

セシニ幸ヒニ十番ヨリ代理人ノ文字ヲ除却スルノ修正説ヲ提出セラル、ニ會フ然レトモ唯恨ムラクハ若シ修正説ノコトクンハ府知事縣令ハ其主任ノ吏員ヲシテ説明ヲ爲サシムルニ止リテ府知事縣令自カラ之ヲ爲ス可キ者ニ非スト爲スノ嫌ヒ無キヲ免レス蓋シ其本色ヲ謂ヘハ府知事縣令タル者ハ自カラ之カ説明ニ任ス可キハ言ヲ須ヒス何ソ之ヲ爲サスシテ可ナリトスルノ理アラシヤ畢竟本案ト雖モ府知事縣令之ヲ爲シ若クハ代理人ヲシテ之ヲ爲サシムルノ意ニシテ未タ始メヨリ府知事縣令之ヲ爲サスシテ可ナリトスル者

ニアラサルナリ故ニ十番ノ修正タル府知事縣令之ヲ爲シ若クハ主任ノ吏員ヲシテ之ヲ爲サシムルノ意義ナランニハ即チ本官モ同意ス可シト雖モ單ニ主任ノ吏員ヲシテ説明セシムルノ意ナルヲ奈何セン是レ十番ノ説ヲ賛成スル能ハサル所以ナリ

○九番 渡邊洪基 本官向キニ敗障ノ貼補ニ類スルノ語ヲ以テ今回ノ改正

ヲ比喻セシニ或議官モ亦巧ニ其説ヲ敷衍セリ蓋シ前ノ比喻ノコトキハ恰モ本案ニ適中セリ何トナレハ彼ノ貼補スルモ猶ホ是レ通則アリテ即チ新紙ノ故紙ニ類似スルヲ好シトスレハナリ故ニ新紙ノ故紙ニ優ルハ猶恕ス可キモ若シ新紙ノ故紙ニ劣ルカ如キハ其醜見ルニ忍ヒサル者トス本案元ト是レ粗造ニ非スト謂ヒ難キモ能ク意ヲ第六條ノ現行法ニ注ケリ是レ新紙ノ故紙ニ類似スル者ナリ問題

説ノ如キハ則チ然カラス所謂新紙ノ故紙ニ劣ル者トス是レ之ヲ可  
トスル能ハサル所以ナリ

○十番

柴原和

内閣委員ニ就テ辨明ノ求ム可キ者アリ反對論者ノ言ヲ

聽クニ本條出納決算ノ報告書ニ關スル説明ハ府知事縣令若クハ其  
代理人タル者府縣會ノ議場ニ臨ミ之ヲ爲ス者トスルカ如シ果シテ  
其言ノ如クンハ本官修正ノ意ト齟齬スルヲ以テ或ハ提出セシ修正  
説ノ取消ヲ請フニ至ルモ亦知ル可カラス故ニ明白ナル辨明ヲ得ン  
トス

○外三番

大森鍾一

十番ノ質問ハ稍問題外ニ涉ル如キモ參酌ノ用ニ供セ  
ンカ爲メ本員ノ意見ヲ述フ可シ本案ハ全ク府縣會ノ議場ニ於テ議  
案ノ説明ヲ求ムルノ意義ニシテ府知事縣令若クハ其代理人ハ其疑

問ニ應シ之カ説明ヲ爲スニ存セリ蓋シ其名ハ出納決算報告書ナル  
モ其説明ヲ爲スニ於テハ通常ノ議案ト異ナルコトナシ是レ其代理  
人ヲ以テスルモ可ナル所ニシテ敢テ府知事縣令ノ自カラ之ヲ爲ス  
ヲ必定トセサルナリ

○十番

柴原和

内閣委員ノ辨明ヲ得テ本官ノ誤解タルヲ知ル是レ其第  
廿七條ノ文意ト同精神ナレハナリ然ラハ則チ原案ノ如クシテ可ナ  
ランカ因テ其説既ニ問題ト成リタルモ原ト是レ誤解ヨリ出ル者ナ  
レハ敢テ之ヲ取消レンコトヲ望ム

○議長 十番ノ修正説一旦問題トナリシモ原ト誤解ニ出ルヲ以テ其  
發議者ヨリ問題ノ取消ヲ求ム依テ之ヲ衆議ニ付セントス其請求ニ  
應セントスル者ハ起立ス可シ

起立者廿三人

○議長 多數ナルヲ以テ之ヲ取消ス可キニ決ス

○三十四番 三浦安 本官修正ノ意見ハ前キニ既ニ豫陳セシ如ク今之ヲ

提供セントス即其府知事縣令若クハ其代理人ハ之ヲ説明スヘシトアルヲ府知事縣令ハ其委員ヲシテ之ヲ説明セシムルコトヲ得ト

爲ニ在リ本官嘗テ府縣會ノ現狀ヲ觀察スルニ大抵各地其方ヲ一ニシ咸ナ委員ヲシテ説明ノ事ヲ擔當セシムルヲ例トス然ルニ或ル議

官ハ其第廿七條ニ府知事縣令若クハ其代理人ハ會議ニ於テ云々ト有ルヲ以テ本條ノ代理人ヲ委員ト爲ストキハ一事ニ様ニ涉ルヲ

恐ル、ト言フカ如シ本官ハ斯ル場合ニ於テハ委員ト爲スノ至當ナルヲ確認スルヲ以テ寧ロ第廿七條ノ代理人ノ文字ヲ改作スルモ本

條ハ必ス委員ノ字ナカル可カラサル者トス

○議長 三十四番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○一番 神田孝平 數個ノ修正說ハ一モ成立セスシテ將サニ原案ニ決セン

トス本官モ亦以テ原案ニ満足スルコト能ハス必スヤ修正セサル可カラサル者トス故ニ今試ミニ一修正說ヲ提出セン蓋シ其說タル前

キニ提出アリシ十番ノ說ト三十四番ノ說トヲ取舍折衷セシ者ニシテ即チ「府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ」ヲ府知事縣令

ハ主任ノ吏員ヲシテ之ヲ説明セシムルコトヲ得ト修正セントス此ノ如クハ府知事縣令自ヲ説明ヲ爲スモ可ナリ或ハ主任ノ吏員ヲ

シテ之ヲ爲サシムルモ可ナル者ニシテ處辨上大ニ便宜ヲ得ン

○議長 一番ノ修正說ハ賛成者無キヲ以テ消滅ス

○議長 討議盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラシ本案ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第三十一條 府縣會ハ毎年一度三月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知事縣令ヨリ之ヲ命ス會期ハ三十日以内トス但區部郡部會ヲ開ク地方ニ於テハ七日以内延期スルコトヲ得

○三番 長岡 護美

本條ニ修正說ヲ提出セントスルヲ以テ更ニ內閣委員ニ就キ一回ノ説明ヲ煩ラハサン夫レ十四年第四號布告ヲ以テ府縣會規則第五條ニ一項ヲ設ケ前項ノ場合ニ於テ府知事縣令ハ時宜ニ依

リ之ヲ再議ニ付スルヲ得再議ノ後猶其議決ヲ認可スヘカラスト思慮スルトキハ內務卿ノ指揮ヲ請フコト前項ニ同シト追加セリ然ルニ今回ハ本案ノ如ク府縣會ハ毎年一度三月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知事縣令ヨリ之ヲ命ス會期ハ三十日以内トスト改正シ其會期ヲ確定シ更ニ延期スルヲ得サルノ精神トセリ然ラハ則チ爾後ハ假令第五條追加ノ如ク府知事縣令ニ於テ之ヲ再議ニ付セントスルモ會期ニ餘裕ナキヲ以テ實地ニ之ヲ爲ス能ハス是レ恐ラク雙方ニ紛議ヲ生セシムルノ機具タルニ過キサル可シ內閣委員ノ説明ヲ聽キ本官ハ之ヲ刪除セントス

○番 井上 毅

三番ノ言是ナリ既ニ本案ヲ以テ府縣會會期ヲ三十日以内ト制定セシ上ハ十四年第四號布告府縣會規則第五條追加ノ事

項ハ實際ニ行ハレ難ク或ハ空文ニ屬スルカ如シ然レトモ第五條ノ追加ハ事宜ニ依リ府知事縣令ハ之ヲ再議ニ付スル者ナレハ其再議ニ付スルト付セサルトハ固ヨリ府知事縣令ノ權内ニ在リテ事機ヲ察シ其料理スル所ニ任ス故ニ實際ニ於テハ敢テ紛論ノ來ス可キ無シト雖モ各位ニシテ若シ之ヲ不可ナリトシ熱心以テ删除ノ說ヲ主張スルモ本員ハ前述ノ意ナルヲ以テ強テ之ヲ抗辨セントスルノ考慮ヲ有セサルナリ

○三番 長岡 護美 内閣委員ノ説明ニ依リ第五條二項追加ノ要領ヲ得タリ其言ヲ以テスレハ空文ヲ存スルモ事ニ害ナクンハ可ナリトスル者ノ如シ夫レ法令規則ハ務メテ精密周到ニシテ苟クモ一ノ行ハレサル者ト雖モ之ヲ等閑ニ付ス可カラス況ンヤ夙ニ紛議ノ多キ府縣會

規則ニ於テヲヤ本官適マ佛國ノ法制ヲ案スルニ地方議會ハ中央議事院ト其典例ヲ異ニシ絶テ議案ノ再議ニ付ス可キ成文ナシ佛國ニシテ尙然リ我國ニシテ何ソ其行ハレサル空文ヲ存シ自他ノ間ニ無用ノ扞格ヲ生セシム可ケンヤ故ニ之ヲ删除スルヲ可トス然リ而シテ本官ハ本條ノ末尾ニ但第五條ノ二項ハ之ヲ删除スノ數字ヲ加ヘントス

○十番 柴原 和 三番ノ修正說タル用意慎密間然スル所口無キカ如キモ只惜ムラクハ第五條ノ二項云々ヲ删除スノ文字ヲ本條ノ但書トセントスルノ不是ナルアルヲ以テ之ヲ賛成スル能ハス若シ第三讀會ニ及ヒ好修正ノ提出セラル、ニ會ハ、之ヲ賛成セサルヲ期セサルナリ

○三番長岡護美

ハサン

十番意思ノ在ル所未タ詳悉スル能ハス請フ再辨ヲ煩ヲ

○十番柴原和

三番ノ修正ハ實ニ第五條ノ二項ヲ删除セントスルニ在リ然ラハ則チ前條ト本條トノ間ニ於テ之ヲ提出ス可キ者トス故ニ三番ノ修正ニシテ其提出ス可キ所ヲ得タランニハ或ハ之ニ同意スルモ亦知ル可カラスト雖モ第三十一條ノ末尾ニ於テ云々セントスルカ如キハ則チ本官ノ意ニ違フ所トス

○廿一番箕作麟祥

三番ハ府縣會規則第五條二項ヲ删除セントスルノ修正說ヲ提出セリ此說果シテ問題ト爲ルヘキヤ否ヤハ豫知スルヲ得スト雖モ特リ怪ム内閣委員ノ府縣會規則第三十一條ヲ改正シテ府縣會ハ毎年一度三月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知事縣令ヨリ之ヲ

命ス會期ハ三十日以内トス云々ト爲シタル上ハ其第五條二項ノ前項ノ場合ニ於テ府知事縣令ハ時宜ニ依リ之ヲ再議ニ付スルヲ得云々ト在ルハ空文ナリトシ之ヲ無用視スルハ其何ノ意ニ出ルヲ知ラス夫レ此第三十一條ハ既ニ會期ヲ三十日以内ト規定スルモ其議決ニシテ府知事縣令ノ意ヲ得ルトキハ止ム若シ否ラサレハ時宜ニ依リ之ヲ再議ニ付スルコトナキヲ期セス蓋シ其會期ヲ三十日以内トセシハ今回ノ改正ニ始マル者ニ非スシテ即チ現行法ノ然カラシムル所ナリ故ニ第三十一條ハ會期ノ制限アルヲ示シ第五條二項ハ時宜ニ依リ府知事縣令ハ其議決ヲ再議ニ付スルコト有ルヲ示セシ者ナリ豈彼此混合シテ議到ス可キ者ナランヤ本官ハ太タ内閣委員ノ說明ニ惑ヒ或ハ誤解ナランカトノ疑ヒヲ來セリ請フ其詳細ナル說



ヲ聞シ

○三番長岡護美

議長ニ問フ向キニ十番ヨリ修正ニ關スル意見ヲ述ヘラ  
ル然ルニ第三十一條ハ既ニ書記官ノ朗讀ヲ經タリ知ラス此第三十  
一條ト前條トノ間ニ一ノ修正ヲ加フルノ說ヲ出スヲ得ヘキヤ

○議長 第三十一條ト密着ノ者ナラシニハ提出スルヲ得ヘシ然カラ  
サレハ假令之ヲ出スモ終ニ主持スル能ハサラン

○三番長岡護美

本案第三十一條ヲ改正シ府縣會期ヲ三十日以内ト定メ  
タル上ハ第五條二項ハ無用ナリトスルヲ以テ之ヲ刪除セントス是  
レ彼此相與カルヲ以テノ故ナリ然レトモ其關係ナシト云フノ理由  
明白ナラハ本官之ヲ默止センノミ

○議長

三番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○三番長岡護美

第五條二項ノ刪除ハ應サニ第三十一條ノ前ニ於テス可  
キ者ト認ム仍テ前說ヲ改メ第三十一條ノ前ニ於テ第五條二項削除  
ノ一項ヲ加ヘントス再考スルニ到底會期ヲ三十日以内ト定ムル上  
ハ再議ニ付ス可キ餘暇無キヲ知ル是レ之ヲ刪除セントスル所以ナ  
リ

○十番柴原和

三番ノ修正說ハ已ニ第三十一條ノ朗讀ヲ經シ後ニ在リ  
ト雖モ議長ノ許可スル所ト爲リ而シテ其修正ヲ提出スル者トセハ  
本官ハ之ヲ賛成セン從來府縣會ノ會期ハ三十日ノ制限ナルモ往々  
之ヲ延ヘテ百日乃至百五十日ニ涉ル者アリ此時ニ方リテハ第五條  
二項ノ如ク府知事縣令ハ時宜ニ依リ再議ニ付スルコト有ル可キモ  
今回改正シテ確ト三十日以後ニ及フヲ得サル者ト定メラレシ上ハ

大ニ實行上ニ於テ會期ヲ檢束セシ者ト謂ヘシ是レ第五條二項ノ成  
文アリト雖モ遂ニ再議ニ付ス可キ餘日無キヲ如何セン本官ハ既ニ  
通常ノ議案ヲ決スルモ尙ホ其日期ノ足ラサル有ランコトヲ顧慮ス  
然ルヲ況ンヤ再議ニ付スルノ餘暇アル可カラサルニ於テヲヤ故ニ  
之ヲ刪除シテ這般改正ノ意ヲ明示スルハ寔ニ當然ノコトナリトス  
宜ナリ内閣委員ノ此修正說ニ抵抗セサルヲ明言セシコトヲ各位幸  
ヒニ之ニ同セラレンコトヲ望ム

○廿二番 榎村正直 本官ハ三番十番ニ間ハント欲スル者アリ三番ハ其初  
メ第五條二項ノ削除ヲ第三十一條ノ末尾ニ但書トシテ之ヲ加ヘン  
ト云ヒ十番ハ三番ノ修正ノ意ハ之ヲ是ナリトスルモ第三十一條ノ  
前ニ於テ之ヲ掲記セサルヲ惜ムトノ說ヲ述ヘタリ今又三番ハ前說

ヲ改タメ第三十一條ノ前ニ第五條二項ヲ削除スルノ目ヲ置カント  
云フ然ルニ第三十一條ノ前ニハ第六條二項追加ノ項アリ三番十番  
ニシテ其順序ヲ正サントナラハ蓋ソ第六條二項ノ前ニ於テ之ヲ爲  
サ、ルヤ蓋シ之ヲ爲サ、ル者ハ抑モ其故アリテ然ルヤ否ヤ敢テ之  
ヲ問フ

○議長 三番ハ第三十一條ニ但書ヲ加フルノ說ヲ取消シ更ニ第二十  
一條ノ前ニ第五條二項削除ノ目ヲ加ヘント云フ是レ第三十一條ノ  
朗讀ニ先タツテ提出ス可キ者ナリ然ラハ則チ既ニ其機會ヲ失セリ  
故ニ之ヲ採用ス可キヤ否ヤ衆議ニ問ントス

○十番 柴原和 本官ハ三番ノ修正說ハ機會ニ後レタルヲ以テ第三讀會  
ニ際シ提出スルナラントセシニ偶マ此ニ之ヲ述ヘラレシハ則チ議

長ハ其提供ヲ許セシ者ト認メテ之ヲ賛成セシニ而カモ議長ハ更ニ衆議ニ問フテ之ヲ決セント言フヲ以テ見レハ未タ之ヲ許サル者タルヲ知ル既ニ然ラハ特ニ之ヲ議場ニ問フヲ要セサル可シ

○三番 長岡護美 廿二番ノ言ヲ聽キ本官ノ誤見アリシヲ知ル願ハクハ第

五條二項削除ノ目ハ第六條二項ノ前ニ置クコトニ改メラレンコト

ヲ

○議長 三番ハ第六條二項ノ前ニ改置センコトヲ請フ十番ハ之ヲ賛

成ス可キヤ

○十番 柴原和 本官ノ意タル多言ヲ須ヒス唯之レニ起立セスト云フノ

一語ニ在ルノミ

○廿七番 黒田清綱 三番ノ修正説ヲ提出スルハ本院ノ規則ニ背戾スル者

トス何トナレハ既ニ議決ヲ經タル條項ヲ超ヘ其前段ニ遡リテ修正ヲ加ヘントスルヲ以テナリ此ノ如キ三讀會ニ提出セハ可ナランニ讀會ニ於テスルハ到底其爲シ得ヘキ所ニ非ス

○議長 三番ハ第六條二項ノ議定ヲ經タルニモ拘ハラス第五條二項削除ノ修正説ヲ提出セントス是ヲ議セシム可キヤ否ヤハ各位ノ意思ニ有リ三番ノ發議ヲ認許スルニ同意者ハ起立ス可シ

起立者無シ

○議長 三番ノ發議ハ各位ノ否トスル所タルヲ以テ其議ハ此ニ止ム

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者廿二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第三十二條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキ府知事  
縣令ハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ七日以内トス但該會ヲ  
要スル事由ヲ直ニ内務卿ニ報告スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立ス可シ  
全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第三十三條 二項

府縣會ニ於テ若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハ會期  
内ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ府知事縣令ハ更ニ其議

定ヲ要セス内務卿ニ具狀シ其認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ  
得

○廿一番 興作 麟祥 議長ニ問フ本官ハ第三十三條二項ニ異議ナキモ本案

中第三款ニ在ル「府縣會規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ云々」  
ノ議案ヲ以テ此第三十三條ノ四項トシ俱ニ府縣會規則中ニ編入セ  
ントス然リ而シテ其修正ノ意タル「府縣會規則第三十三條」ノ十字  
ヲ刪除シ文ヲ「第一項ノ場合ニ於テ内務卿ハ云々」ヨリ起シ而シテ  
其結尾ニ至ル迄總テ本案ノ如クセントス蓋シ是レ唯其位地ヲ轉ス  
ルニ止マル者ニシテ其修正ノ理由ニ至テハ追テ之ヲ述ン今ヤ第三  
十三條二項ノ追加案現ニ問題トナレリ故ニ本官ノ修正說ハ目下直  
チニ提出ス可キヤ將タ現問題決定ノ後ニ於テス可キヤ敢テ議長ノ

命ニ從ハン

○議長 第三十三條二項追加案ノ取決ノ前ニ於テ提出スル方ナラン

○廿一番 箕作 麟祥 前陳ノ如ク本官ハ第三十三條二項ニハ敢テ論スル所

無シ然ルニ今直チニ本官ノ蓄フル所ノ修正説ヲ提出セント欲スト

雖モ既ニ他説ノ問題ト爲リタル上ハ必ラス之レニ對シテ發議アラ

ンコトヲ慮ルヲ以テ姑ク本官ハ緘默シ其無キヲ認メテ後提出スル

所有ル可シ

○一番 神田 孝平 本官モ第三十三條二項ノ趣意ニハ異議ナキモ文字上聊

カ修正セントスル者アリ案中「府知事縣令ハ更ニ」ト有ル更ニノ二

字ハ其必用ヲ見ス寧ロ其無キノ優レルニ如カス之ヲ删除セン

○十一番 津田 眞道 賛成

○議長 一番ノ修正説ハ賛成者有ルヲ以テ問題トス且告ク廿一番ハ

第三十三條へ本案中第三款ニ在ル「府縣會規則第三十三條第一項ノ

場合ニ於テ云々」ヲ第四項ノ追加トシテ編入スルノ修正説ヲ提出セ

ント云ヘリ又一番ヨリハ既ニ本案ニ對シ更ニノ二字ヲ削ルノ修正

説ヲ提出セリ依テ廿一番ノ修正説ト現問題トヲ分別シテ決ヲ取ラ

ハ大ニ整頓ノ便ヲ得ン各位異議無クンハ之レニ從ハン

○十番 柴原 和 本官ノ意ハ既ニ廿一番ヲ賛成スルニ在リ曾テ第一讀會

ニ於テモ本案中第三款ノ議案ハ之ヲ單行布告トスルノ理由ナキ旨

ヲ陳ヘタリ今之ヲ移シ來リテ本條第四項トスルハ甚タ其當ヲ得タ

リトス且本官モ第三十三條第二項ニ關シテハ更ニ異論アルコト無

シ依テ本案ト廿一番ノ修正説トヲ分段シテ取決セラル、ハ最モ其

望ム所ロナリ

○外一番安場保和 一番ノ修正説ニ對シ一言ヲ述ントス元來本案ノ起草

ハ務メテ現行法ノ文字ヲ用ヒ其簡便ヲ主トセリ故ニ更ニノ二字ノ如キモ亦現行ノ文字ヲ襲用セシ者ニ過キス假令之ヲ刪ルモ恐ラク益スル所口無ケン望ラクハ本案ノ如ク之ヲ存シテ新舊法文ノ異同ナカラシコトヲ

○議長 本案ト廿一番ノ修正説トヲ分段シテ取決スルハ各位ノ異議ナキ所口認ム今ヤ一番ノ修正説ヲ決シ尋テ廿一番ノ修正説ニ及ハントス

○外二番井上毅 一番ヨリ更ニノ二字ヲ刪除スルノ修正説ハ現ニ問題ト爲レリ僅僅タル字句上ノコトナルヲ以テ強テ抗辨ヲ要セスト雖

モ又一言無キ能ハス夫レ本案ノ改正タルヤ大旨趣ノ如何ニ至リテハ已ムヲ得ス更革セシモ餘ハ悉ク現行ノ法文ニ準據シ敢テ文字ニ屑屑タラサリシナリ然レトモ更ニノ文字ヲ此ニ用ヒシハ固ト偶然ニ非ス其之ヲ要スルハ重キヲ示スノ副詞ナリ元來議案ノ府縣會ニ於テ議定ス可キ者ナルニ府縣會ハ法ノ如ク議定セサルヲ以テ已ヲ得ス其議定ヲ要セスシテ内務卿ニ具狀シテ之ヲ施行スル者ナレハ更ニノ字ハ至極要用ナリトス況ンヤ是レ現行ノ法文ヲ襲用スル者ナルヲヤ

○十番柴原和 議案ハ悉ク議定セシムルノ精神ナリ而シテ本案ノ場合ハ其例外ヲ示ス者ナレハ更ニノ字句有ルヲ當然トス然レトモ其冒頭ノ「府縣會ニ於テ若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス云々」ト

ハ是レ何ヲ言フニ在ルカ夫レ府縣會ノ議定ス可キ者ハ法律上ニ於テ判然定ムル所ノ者ナリ豈府縣會ノ之ヲ議定セスシテ可ナランヤ然ラハ則チ此冒頭ノ數文字ハ無用タルヲ免カレス蓋シ是レ今回改正ノ然カラシムル所ニ非スシテ則チ十四年第四號布告ノ制定スル所ニ係レリ然リ而シテ第四號ノ布告タル原ト本院ノ議定ヲ經ス止タ檢視ニ付セラレタル者ナリト考フ是等ノ故ヲ以テ當時遂ニ議ノ此ニ及ハサリシナラン到底此文字ハ蛇足タルヲ免レサルヲ以テ之ヲ刪除スルヲ可トス

○議長 發議盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン一番ノ修正說ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ一番ノ修正說ハ消滅ス

○十番柴原和 一番ノ修正說消滅セシヲ以テ本官ハ向キニ豫陳セシ如ク本條中若シ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セス又ハノ文字ヲ削除スルノ修正說ヲ提出ス

○川四番三浦安 本官モ亦十番ト同一ナル感觸ヲ帶フ苟クモ府縣會ニ於テ法律上議定スヘキ議案ヲ議定セサルコトアルトキハ等ノ文字ヲ存スルトキハ則チ人民ヲシテ或ハ法律上議定ス可カラサル者ヲ府知事縣令ヨリ時トシテハ出スコト有リトスルノ反想ヲ起サシムルコト無キヲ保セス是レ畢竟無用ノ文字ノミ即チ刪除說ヲ贊成ス

○議長 十番ノ修正說ハ贊成者アルヲ以テ問題トス

○番二番井上毅 十番ノ修正說ニ對シ一言シ以テ原案ヲ主持セントス

若シ十番ノ言ヲシテ其發表前ニ有ラシメハ或ハ可ナル可キモ既ニ一旦布告セシ成文法ナルトキハ之ヲ如何トモス可カラス若シ夫レ強テ修正説ノ如クナサハ人民ハ謂ラク今遽カニ之ヲ删除スルハ法律上議定ス可カラサル者ト雖モ議定スルヲ得ルコトト爲リシナラント遂ニ意外ノ感觸ヲ起サシム可シ且十番ト雖モ此文字ニ關シ大ナル弊害有リト言フニ非スシテ止ダ要用ナラサル文字ナリト云フニ過キス寧口之ヲ存シテ其惑ヒ莫ラシムルニ如カス況ンヤ之ヲ存セハ其議定ス可キ議案ヲ議定セサルトキハ則チ之ヲ責ムルノ辭アリ且ツ直チニ之ヲ施行スルヲ得ルノ特法アルヲヤ願クハ原案ノ如クナラシコトヲ

○十五番 伊丹重賢 本官モ問題説ニハ不同意ナリ内閣委員ノ言ノ如ク始

メヨリ此文字微リセハ故サラニ之ヲ加フルニ及ハスト雖モ既ニ法律ノ成文ト爲リタル上ハ今俄カニ之ヲ刪ラハ人民ヲシテ多少ノ疑惑ヲ生セシメン宜シク原案ノ如クナルヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン十番ノ修正説ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者四人

- 議長 少數ナルヲ以テ十番ノ修正説ハ消滅ス
- 廿一番 箕作麟祥 本官ノ修正説ハ此間ニ提出ス可キヤ
- 議長 第三十三條二項取決ノ後ニス可シ
- 九番 渡邊洪基 本官モ廿一番ノ意ノ如ク本案第三款府縣會規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ内務卿ハ云々ノ布告案ハ之ヲ單行トセス



シテ此第三十三條中ノ一項ト爲スヲ可トス而シテ廿一番ハ之ヲ其  
 第四項ニ加ヘント言フモ本官ハ之ヲ第二項ト爲サントス其故ハ第  
 三十三條第一項ニハ「會議ノ論說國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則  
 ヲ犯スコトアリト認ムトキハ府知事縣令ハ會議ヲ中止セシメ内務  
 卿ニ具狀シテ其指揮ヲ請フヘシ」ト在リテ此項ト其類例相近シ然ル  
 ヲ本案第二項ノ相遠キ者ヲ中間ニ插ミ之ヲ第四項ト爲ストキハ大  
 ニ序次ヲ失スルノ不可ナル有リ要スル所ハ本官ハ廿一番ノ修正シ  
 テ第四項トセントスル者ヲ以テ其第二項トシ而シテ其冒頭ノ「第一  
 項ノ場合」トアルヲ前項ノ場合云ヤト改メ本案第二項ヲ其第三項ト  
 シ現行法第三項議員招集ニ應セサル者半數ヲ過キ議會ヲ開クヲ得  
 サルコトアルトキハ府知事縣令ハ其事由ヲ内務卿ニ具狀シ指揮ヲ

請フヘシト有ルヲ第四項トナサントス若シ廿一番ノ之ニ同スルノ  
 意アラハ則チ其順序ノ正シキヲ得以テ完全ノ修正ト爲ル可シ蓋シ  
 此說タル稍ヤ廿一番ノ修正ト項ヲ立ルニ異ナル有リ然レトモ尙ホ  
 第三十三條二項ノ取決ノ後ニス可キヤ之ヲ議長ニ問フ  
 ○議長 本案取決ノ後ニセサレハ未タ其存廢奈何ヲ知ルニ由ナシ故  
 ニ第三十三條二項ヲ決シ而シテ後チ項ヲ置ノ如何ヲ定ムルモ晚カ  
 ラサル可シ

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立ス可シ  
 起立者十九人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○廿一番 笑作 麟祥 本官ハ向キニ豫陳セシ修正說ヲ提供セントス然ルニ

九番ハ其單行布告トセスシテ本案第三十三條中ニ加フルハ同意ナルモ之ヲ四項トセンヨリハ寧ロ其二項トスルニ如カスト言ヘリ是レ其序次ニ就テ小異同アルノミ而シテ九番ノ意見ノ如ク之ヲ其二項トスルハ順序ト云ヒ體裁ト云ヒ共ニ其當ヲ得ルカ如ク本官モ亦嘗テ之ヲ思ハサルニ非ス然ルニ敢テ之ヲ爲ササル者ハ別ニ見ル所有ルヲ以テナリ夫レ府縣會議規則タルヤ實ニ十一年七月ヲ以テ發セラレ十三年四月ニ至リ大ニ之ヲ改正ス爾來數次變更シ稀ニハ木竹相接スルカ如キ看ナキ能ハスト雖モ政府ハ急激ニ事ヲ處セサルヲ示スノ意ナルカ務メテ舊格ヲ存シ容易ニ其位置等ヲ變セス彼ノ地方稅規則ノ改正ノ如キモ亦同シク舊來ノ條項ハ依然トシテ之ヲ存シ其一項ヲ改メテ二項トシ其二項ヲ改メテ一項トスルカ如キコ

トハ絶テ之ヲ見ス此一班ヲ推スモ全豹ヲ窺フニ足ラン然ラハ則チ本案ノ修正ノ如キモ其已ムヲ得サル者ノミニ止メテ可ナリ況ンヤ九番ノ言ノ如クセンニハ特リ本案ノ修正ノミニ非スシテ現行法ヲモ變換セサルヲ得サルヲヤ而シテ事煩擾ニ涉ルモ遂ニ其効ナカラシ以上九番ノ忠告ニ對シ本官ノ意ノ在ル所ヲ述フ請フ是レヨリ修正ノ旨意ヲ陳セン夫レ此規則タルヤ所謂ル外邦ノコ―トモ稱ス可キ者ナレハカメテ區區ニ涉ラス一部ニ編制シテ以テ大法典タルノ體裁ヲ具備ス可キヲ善トス故ニ本家中第三款ノ如キモ單行布告トセスシテ府縣會議規則ニ編入セントスルハ特リ體裁上ノミナラス他日大ニ參照ノ便アリトス蓋シ本案ノ末款「府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルコト

ヲ許サス云々」一條ノ如キハ原ト是レ府縣會ノ事項ニ非スシテ其議員タル者他ノ議員ト聯合集會又ハ往復通信スルヲ禁スル者ナレハ頗ル其性質ヲ異ニセリ是ヲ以テ是等ノ事項ハ府縣會規則中ニ編入セサルヲ可トス

○十番 柴原和

廿一番ノ修正說ヲ賛成ス其理由ハ發議者自カラ述ル所口明瞭ナルヲ以テ更ニ贅辨ヲ要セサル可シ然ルニ九番ノ「第一項ノ場合」ト云フヲ前項ノ場合トシ其項ノ位置ヲ轉セント言フハ其類例ノ相近キ者ヲ以テ順序ヲ立ントノ意ナル可シ然ルニ第三十三條一項ニハ「會議ノ論說國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ムルトキハ府知事縣令ハ云々」ト有リテ第三十四條ニハ「會議中國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ムルト

キハ内務卿ハ云々」ト有リ是レ第三十三條第三十四條ハ既ニ條ヲ介スルモ共ニ相待テ其效用ヲ爲ス者ナリ何ソ必スシモ同條中項ノ前後ヲ以テ順序ノ整不整ヲ尤ム可ケンヤ九番ハ已ニ本修正說ノ大體ヲ可認セリ因テ其說ヲ卷テ懷ニシ粹然廿一番ノ說ヲ賛成アラシトヲ望ム

○卅四番 三浦安

賛成

○議長 廿一番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○九番 渡邊洪基

本官モ廿一番ト同シク本案第三款ノ議案ハ單行布告トセシテ第三十三條ニ編入シ一項ト爲スヲ可トスト雖モ其位置ヲ定ムルニ於テ聊カ其意見ヲ殊ニセルノミ若シ之ヲシテ各條ノ變換ナラシメハ或ハ容易ニ爲スカラサルカ如キモ僅カニ是レ一條中

ノ項ニ關スル者ナレハ其事柄ニ依リ之カ位置ヲ改定スルニ何ノ不  
是カ有ラン蓋シ本官ハ敢テ之ヲ熱心抗論スルニ非ス唯其瑣事タモ  
失當ナキヲ期セントスルヲ以テナリ故ニ廿一番ノ修正説若シ消滅  
スルニ至ラハ本官ハ其意ヲ承ケ更ニ項ヲ置クノ地ヲ換ヘ見ニ問題  
説タル所ノ者ヲ以テ第三十三條ノ第二項トシ本案ノ二項ヲ第三項  
トシ現行法ノ三項ヲ第四項トシ且其冒頭ヲ前項ノ場合ニ於テ云々  
ト修正セントス是レ敢テ事ヲ好ムノ致ス所ニ非ス廿一番ノ爲メニ  
聽レラレサルヲ以テ已ヲ得ス此ニ至ルノミ

○議長 廿一番ハ第三十三條二項ト有ル其下ヘ四項ノ二字ヲ加フル  
ノ修正ナリヤ

○廿一番 笑作 麟祥 然リ二項四項ト連書セン蓋シ二項ハ改正ニシテ四項

ハ追加ナルモ既ニ布告案中ニ「追加改正ス」ト在ルヲ以テ其不可ナ  
キヲ知ル

○十番 柴原和 二項四項トスルモ不可ナカル可シ是レ往々見ル所ノ者  
ナリ

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン廿一番ノ修正説ニ同意者ハ  
起立ス可シ

起立者十八人

○議長 多數ナルヲ以テ廿一番ノ修正説ニ決ス

○廿三番 九鬼 隆一 本官特別ノ建議ヲ爲サン昨日來畧ホ其意見ノ在ル所ヲ  
陳述セシ如ク即チ府縣會規則第三十五條ニ但書ヲ加ヘ第十三條ニ  
一款ヲ設クルノ説ナリ抑モ本則第三十五條ニハ「内務卿ヨリ解散ヲ

命シタルトキハ其解散ヲ命シタル日ヨリ九十日以内ニ更ニ議員ヲ改撰スヘシト有ルモ其改撰ニ當リテヤ仍ホ前議員ノ再選セラル、ヲ得ルヲ以テ遂ニ其效ヲ收ムルニ由ナシ因テ本官ハ之ニ但書ヲ加ヘ但解散ヲ命セラレタル議員ヲ再選スルヲ得ストシ又第十三條ニ第六款ヲ設ケ第三十五條ニ依リ解散ヲ命セラレタルモノニシテ解散後滿四年ヲ經サル者ト修正セントス原來第三十五條ニ依リ解散ヲ命セラレタル者ハ其何等ノ所爲ニ出ルヤヲ問ヘハ乃チ會議ノ論說國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコト有リト認メラレタル者ナリ然ルニ此ノ如キ者ニシテ直ニ再選ヲ得ルモ其再ヒ議場ニ上ルヤ依然トシテ前議ヲ墨守スルヤ必セリ假令外貌ニ温和ヲ示スモ其内心決シテ服従スル者ニ非ス是レ之ヲ解散スルモ其實効無キ

所以ナリ若シ本官ノ修正ノ如クンハ實際ニ適切ニシテ今ヨリ大ニ其面目ヲ改メントス内閣委員ノ言ヲ聞クニ政府ハ急激ノ改正ヲ好マス寔ニ其已ヲ得サル者ノミヲ採テ之ヲ更革スト云フ本官モ素ヨリ之ヲ然リトス苟クモ頻年改正ヲ爲スカ如キハ決シテ其宜シキ所ニ非ス況ンヤ本年二月ノ改正タル今回改正ノ精神ト相反スル者無キニ非サルヲヤ本官ハ今回ノ改正ヲ以テ至當間然ナキノ改正ナリトス故ニ其爲ス可キ者ハ之ヲ爲シ以テ他日ニ遺憾無ク復タ數次改正セサル可カラサルカ如キ歎ナカラシコトヲ欲シ特ニ此說ヲ提出ス幸ヒニ各位ノ是認スル所ト爲ランコトヲ望ム

○廿二番榎村正直 廿三番ノ說ハ至當ノ道理ヲ有スル者トス其府縣會規則第三十五條ニ依リ解散ヲ命セラレタル者ハ是レ如何ナル者ソト

問へハ則チ國ノ安寧ヲ害シ法律規則ヲ犯ス有リト認定セラレタル者ナリ苟クモ此者ニシテ再選セラル、ヲ得再ヒ議場ニ上ルカ如キハ更ニ解散ノ効アルヲ見ス管ニ其效用ヲ看サルノミナラス徒ラニ内務省ノ繁雜ヲ増スノミナリ然ルニ今廿三番ノ説ノ如クンハ第三十五條ノ精神ハ大ニ發揮トシ時々暴戾ナル議員ヲ出スカ如キコト無カラシ蓋シ今日現行法ニ於テ斯ノ如キ成文ノ無キハ頗ル闕典ナリトス本官私カニ謂ラク今回ノ改正ニ方リテハ必ラス當サニ此項ヲ加フル有ル可シト信セシニ既ニ本案ノ頒布ニ會ヒ改正ノ此ニ及ハサルヲ看テ内心轉タ不滿ヲ抱ケリ今ヤ幸ヒニ好修正ノ出ル有リ何ソ賛成セサルヲ得ンヤ

○卅四番 三浦安

廿三番ノ建議ヲ賛成ス本官其説ヲ蓄フルヤ久シ抑モ

第三十五條ハ府縣會ノ反動力ヲ制スルニ在リ然ルニ其全効ヲ歛ムル能ハサルハ何ソヤ蓋シ成文ノ不是ナルニ由ル故ニ廿三番ノ説ノ如クンハ初メテ全體ノ活動ヲ得大ニ妙處ニ至ラントス或ハ反對論者ハ之ヲ難シテ壓制ヲ事トストノ駁言ヲ來スモ未タ知ル可カラスト雖モ其制ス可キハ之ヲ制シ其寬ニス可キハ之ヲ寬ニスルニ何ノ不可カ之レ有ラン是レ即チ施政ノ忽諸ニ付ス可カラサル所ナリ

○九番 渡邊洪基

廿三番ハ建議ヲ爲スト云ハリ假令ヒ之ヲ建議ト言フモ賛成者ヲ得ハ問題タルコトヲ得可キカ

○議長 廿三番ハ建議ナリト言フヲ以テ一應衆議ニ問テ之ヲ決セントス

○九番 渡邊洪基

良シヤ建議ナルモ其説ニ對シテ我意見ヲ述ルハ得テ支

障ナキヤ

○議長 可ナリ

○九番 渡邊 洪基

此ニ意見ヲ述ン廿三番ノ説ハ本官之ヲ不可トス抑モ議員ノ一旦解散ヲ命セラルモ九十日以内ニ於テ更ニ改選ス可キハ即チ第三十五條ノ定ムル所ナリ若シ廿三番ノ説ノ如クセハ議場ニ列スル議員ハ甲乙ノ別ナク是非ヲ分タス都テ滿四年間議員タルコトヲ得サル者ト爲リ彼ノ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者ト一般即チ被選人タルノ權利ヲ失フモノナリ豈當ヲ得ル者ナラシヤ被選人ハ猶ホ可ナリ其選舉人タル者ハ何ノ罪アリテ自由選舉ノ權ヲ剝奪セラレントスルヤ是レ最モ解ス可カラス且其解散ヲ命セラレタル者モ爾後其思想ヲ變ヘシ忠誠ニ事ヲ執ラントスルモ既

ニ被選人タルコトヲ得ス且其人ヲ知テ之ヲ選舉セントスル者モ亦遂ニ選舉スルコト能ハス兩者等シク此不幸ニ陷ラントス何ソ思ハサルノ甚シキヤ論シテ此ニ至レハ其修正ノ不可ナル智者ヲ待テ知ラサルナリ然レトモ廿三番ノ憂フル所亦一理ナキニ非ス故ニ今回ノ改正ニモ第三十三條ニ於テ内務卿ハ府縣會ヲ停止スルヲ得ルノ成文ヲ掲ケタリ是ヲ以テ其已ムヲ得サルトキハ則チ此成文ヲ用テ之ヲ停止ス可キナリ既ニ之ヲ用フルヲ得乃チ廿三番ノ憂フル所ノ弊害ヲ拯フニ餘リ有ラン蓋シ此事タル固ヨリ容易ニ施ス可キコトニ非ス然ルヲ矧テヤ第三十五條ニ但書ヲ加ヘ被選人選舉人トモニ併セテ之ヲ檢制セントスルハ大ニ代議政體ノ面目ヲ傷フ者トス是レ本官ノ取ラサル所ナリ

○廿三番九鬼 陸一 九番ハ本官ノ説ニ對シテ不同意ノ點ヲ臚陳セリ而シテ其大畧ハ府縣會議員ニシテ國安ヲ害シ又ハ法律規則ヲ犯サントスルノ説ヲ發セシ者ト其之ヲ賛成セシ者トハ姑ク之ヲ置キ其純然同意セサル者モ亦再選スルヲ得サルニ至ルヲ病ムノミナラス終ニ選舉人ノ權利ヲモ剝奪スルニ似タルヲ以テ之ヲ不可ナリトスト言フ者ノ如シ本官モ其始メ再選セラル、コトヲ得サル者ハ單ニ其發議者及ヒ賛成者ニ限ラントセシモ奈何セン之カ區別ヲ立ルハ極メテ難シ然ラハ則チ之ヲ止メンカ終ニ府縣會ノ弊害ヲ救フニ由ナシ然リ而シテ其輕重ヲ量ルニ府縣會ノ弊害ヲ救フハ重ク之カ區別ヲ立ル如何ハ輕ク因テ寧ロ彼ノ輕キ者ヲ舍テ以テ之カ修正ヲ提起セリ且九番ハ此修正ニ因リ選舉人ノ自由ヲ傷フト云フモ固ヨリ好シ

テ爲スニ非ス是レ自然ノ理勢ニシテ復タ奈何トモシ難シ若シ夫レ被選人ノ如キハ到ル處充滿セルヲ以テ決テ其人ニ乏シカラストス

○廿五番津田 出

本官ハ廿三番ノ建議ニ對シ又別ニ建議ノス可キ有リ

廿三番ノ發議ノ如キ其説ノ當否ハ姑ク置キ從前本院ノ規則又ハ慣例ヲ按スルニ未タ嘗テ修正説ノ建議アルヲ聞カス況ンヤ又之ヲ賛成スル者ヲヤ是レ固ヨリ議場ノ問題ト爲ル可キ者ニ非ス若シ夫レ廿三番ノ之カ修正ヲナサント欲セハ別ニ意見書ヲ提供シ其手續ヲ經テ議場ノ問題ト爲シ而シテ後チ之ニ對シテ討論辨議スルハ當然タル可シ請フ其規則ト慣例トニ遵依センコトヲ

○議長 廿三番建議ノ旨趣タル未タ第三十七條ノ朗讀ヲ爲サル前ニ方リ第三十五條ニ但書ヲ加ヘ且ツ之ニ牽連シテ第十三條ニ六款



ヲ追加セントス是レ内閣下付案ニ對スル修正ニ非スト雖モ彼此頗ル關係アルヲ以テ此ニ之カ修正ヲ出サントノ意ニ在リ然ルニ已ニ賛成者アリ且該說ニ就キ廿五番ノ建議スル所ロアルヲ以テ旁々廿三番ノ修正ヲ第三十七條ノ前ニ挿入シテ議ス可キヤ否ヲ衆議ニ問ントス即チ之ヲ挿入シテ議スルニ同意者ハ起立ス可シ

起立者四人

○議長 少數ナルヲ以テ廿三番ノ說ハ成立セス

書記官 森山 朗讀

第三十七條 常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序及豫備費ノ支出ニ付府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述フ

常置委員ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決シ追テ府縣會ニ報告スルヲ得

右奉 勅旨布告候事

○三番 長岡 護美 本條ニ修正ノ說アリ現行法第三十七條ニ「常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ」ノ下地方稅ヲ以テ支辨スヘキノ字アリ而シテ本案此字句ヲ缺ケリ是レ頗ル區域ノ茫漠タルヲ覺フ依テ現行法ノ如ク爲ランコトヲ欲シ此ニ之カ修正說ヲ提出ス

○十番 柴原 和 三番ニ問フ現行法ニハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ云々ノ文字ヲ見ス是レ其誤謬ニ非ラサル莫キヲ得ンヤ

○三番 長岡 護美 然リ十四年第四號ヲ以テ改正セラレシ以前ニ係ル規則

ヲ指スノ意ナリシ但シ其地方税ヲ以テ支辨スヘキ云々ノ如キ要用ノ文字ヲ省クトキハ管ニ文意ノ漠然タルノミニ非ス又以テ事ニ繁雜ヲ生セントス因テ之ヲ挿入セサル可カラス

○議長 三番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○廿七番 黒田清綱 本官文字上ニ修正アリ本條第一項府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述フト有ルハ少シク文字ノ足ラサルヲ覺フ

因テ之ニ可シノ二字ヲ加ヘ云々其意見ヲ述フ可シニ作ラントス賛成ヲ得テ問題タランコトヲ欲ス

○十九番 楠本正隆 賛成

○一番 神田孝平 賛成

○議長 廿七番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○三番 長岡護美 本官モ之ヲ賛成ス修正ノ如クハ頗ル文字ノ允當ヲ得

○九番 渡邊洪基 廿七番ノ修正説アルモ本官ヲ以テ之ヲ見レハ其文字ノ

足ラサルハ則チ事實已ムヲ得サル者ナリトス何トナレハ府知事縣令ノ諮問アルニ方リ常置委員ノ其意見ヲ述ルモ原ト是レ其本色ニ非ス故ニ之ニ對シテ意見ヲ述フヘシトノ命令詞ヲ用フルハ穩當ナラサルカ如シ蓋シ其實意見ヲ述ル者トスト謂フカ如キ者ナリ廿七番ノ修正ハ其語路ハ好キモ諮問ニ應シテ意見ヲ述フ可シトノ命令ヲ爲スニハ及ハサル可シ現問題ノ消滅ヲ待チ本官ハ別ニ修正説ヲ提出セントス今試ミニ之ヲ述ニ元來本條ヲ別テ二項トセシハ其何ノ故ナルヲ知ラス故ニ本官ハ二項ヲ合シテ以テ現行第三十

七條ノ如ク之ヲ連續セシメントス蓋シ本案ヲ以テ現行法ニ比スレハ其異ナル所ハ第一項ノ「豫備費ノ支出」ノ文字ト第二項ノ「豫算及徵收方法」ノ文字ノ加ハリタルニ過キス而シテ其餘キタルハ僅ニ「毎ニ」ノ二字ナリトス然ルニ是等ノ故ヲ以テ特ニ之ヲ二項ニ列記ス可キ要用アルヲ見ス知ラス何ノ理由アリテ然リヤ抑モ此一二項ノ效用ヲ舉レハ第二項ノ經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決スルノ事項ヲ以テ重要ナリトス實ニ是レ常置委員ノ本分ノ在ル所ト雖モ其一項ニ於テハ僅ニ之ニ附帶スルノ一事ニ外ナラス此ノ如キハ宜シク現行法ニ倣ヒ之ヲ連續セシメ常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序及豫備費ノ支出ニ付府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述ヘ及地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施

ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決シ追テ府縣會ニ報告スルヲ得ト修正スヘシ然リ而シテ今之ヲ接續スルモ其文字ノ異ナル所ハ即チ意見ヲ述フト有ルヲ述ヘニ作り更ニ及ノ一字ヲ加ヘ第二項ノ冒頭ニ在ル「常置委員ハ」ノ五字ヲ除クニ有ルノミ惟フニ此ノ如クンハ大ニ其體裁ヲ得ン時機ヲ得テ之ヲ提出セントス

○外番一安場保和

廿七番ノ修正ハ其意見ヲ述フヘシトスルニ有リテ即チ其諮問アルニ當リテハ可ナルカ如キモ若シ諮問ナキトキニ於テハ不可ナル無シト言ヒ難シ但シ本案ノ意ハ其諮問ノ有無ニ關セス兩者相通シテ用ヒタル文字ニシテ猶ホ府縣會規則第一條ノコトク其性質ヲ示ス者ナリ因テ原案ヲ可ナリトス又九番ハ本條ヲ二項

ニ分ツノ非ナルヲ辨シ之ヲ一條ニ連續セントスルノ意ヲ豫陳セリ  
 蓋シ之ヲ分ツテ二項トセシハ偶然ニ非ス即チ用意ノ此ニ及ヒシ者  
 ナリ元來常置委員設置ノ初メハ未タ之ヲシテ充分ニ議權ヲ與ヘサ  
 リシモ漸次改正シ來リテ今ヤ常置委員ハ府知事縣令ノ諮問ニ對シ  
 意見ヲ述ルヲ得且臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及  
 徵收方法ヲモ議決スルヲ得ルニ至ル蓋シ其意見ヲ述ルト之ヲ議決  
 スルトハ自カラ其分界アリ故ニ彼ノ諮問會ハ府知事縣令ヲ以テ議  
 長ト爲シ其他ハ常置委員ノ内ヲ以テ議長トセリ是ヲ以テ之ヲ觀レ  
 ハ諮問會ト決議會トヲ區別ス可キハ自カラ理ノ判然タル者ナリ豈  
 此二質ヲ混同シテ可ナランヤ因テ須ラク本案ノ如ク之ヲ二項ト爲  
 シ其諮問會ト決議會トノ二様アルヲ明示スヘシ

○廿七番 黒田清綱

内閣委員ノ説明ヲ聞クモ諮問アルニ會ハ、常置委員  
 ハ必ス其意見ヲ述ヘサルヲ得サル者ナリ然ラハ則チ之ヲ述フ可シ  
 トシテ其適從スル所ヲ知ラシムルニ何ノ不可カ之レ有ラン若シ夫  
 レ單ニ述フト言フカ如キハ恐ラクハ其語ヲ爲サ、ル可シ

○議長 發議既ニ盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン廿七番ノ修正  
 說ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ廿七番ノ修正說ハ消滅ス

○九番 渡邊洪基

本官ハ向キニ修正ノ意見ヲ豫陳セリ今此ニ之ヲ提出セ  
 ンニ本案其意見ヲ述フト有ルヲ其意見ヲ述ヘ及地方稅ヲ以テ支  
 辨スヘキ云々ト接續シ其二項ヲ合シテ一條トスルニ在リ内閣委員

ハ本官ノ修正ニ對シ説ヲ爲シテ曰ク之ヲ二項トセスシテ一條ニ接  
 續スルトキハ則チ諮問會ト決議會ト相混同スルノ嫌ヒ有リト豈二  
 項ヲ合シテ一條トスルノ故ヲ以テ之カ區別ヲ失フノ理アラシヤ夫  
 レ常置委員ノ要タル即チ二項ニ掲クル臨時急施ヲ要スル場合ニ於  
 テ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決スト言フヲ以テ本務トセリ第一  
 項ノ如キハ元ト是レ諮問ニシテ其之ヲ諮問スルト否トハ則チ府知  
 事縣令ニ在リテ素ヨリ強ユ可キ者ニ非ス故ニ其前後ヲ以テ輕重ヲ  
 立ルトキハ後項ハ前項ヨリ重要ナリトス故ニ之ヲ分ツテ二項ト爲  
 スハ頗ル其體裁ヲ得ス寧ロ連續シテ第一條トシ以テ一氣貫通スル  
 ニ如カス

○一番 神田 孝平 廿七番ノ修正説ノ消滅セシハ遺憾ナリトス仍テ更ニ九

番ヲ賛成ス

○議長 九番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○十番 柴原 和 本官ハ問題ニ不同意ナリ内閣委員ノ辨明セシ如ク府縣

會ニ常置委員ヲ設ケシハ即チ十三年第四十九號布告ヲ以テ定ムル  
 所ニシテ當時ニ在テハ常置委員會ノ議長ハ地方長官之ニ任シ止タ  
 第三十八條ノ報告ヲ爲スニ就テノ議長ノ委員中ヨリ簡選スルニ  
 止マリシモ漸次改正ヲ加ヘ今ヤ諮問會ト決議會トノ二様ノ性質ヲ  
 有シ諮問會ノミ府知事縣令之カ議長ト爲ルモ他ノ決議會ハ悉ク委  
 員中ヨリ議長ヲ簡選スルコト、爲シ以テ判然其諮問會ト決議會ト  
 ノ區別ヲ立テタリ然リ而シテ常置委員ハ臨時急施ヲ要スル場合ニ  
 於テハ地方稅ヲ以テ支辨ス可キ經費ノ豫算及徵收方法ニ至ルマデ

之ヲ議決スルノ權ヲ有スル者ナレハ第一項ト第二項トノ分界ハ務  
メテ明瞭ナラシメサルヲ得ス且其第三十六條ハ常置委員ノ員數ヲ  
定メ而シテ本條ハ委員會ノ性質ヲ說示セシ者ナレハ必スヤ之ヲ二  
項トシテ二様ノ性質アルヲ知ラシム可シ本官ハ獨リ之ヲ二項ト爲  
スノ要用ヲ知ルノミナラス寧口之ヲ二條ト爲スノ本法タルヲ知ル  
ト雖モ特ニ急施ヲ要スルノ法案ニシテ其餘暇無キヲ以テ姑ク本案  
ニ從フナリ

○議長 發議盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン九番ノ修正ニ同意  
者ハ起立ス可シ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ九番ノ修正說ハ消滅ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立ス可シ  
起立者廿一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

布告案

明治十三年<sup>四</sup>月<sup>四</sup>第拾六號布告地方稅規則中左ノ通追加改正ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立スヘシ  
全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第三條 二十項

一豫備費豫算外ニ生シタル事件及豫算臨時不足ニ充ル者

○十番柴原和 本官一字ノ修正説アリ本條豫備費ノ脚註ニ豫算臨時ノ

不足ニ充ル者ト有ルニ對シ向キニ既ニ疑惑ヲ生シ因テ之ヲ内閣委

員ニ質セシニ其説明ニ口ク既ニ地方税ノ豫算ヲ立ルモ時々意外ノ

變更アリテ臨時不足ヲ生セシトキ之ニ充ル者ヲ謂フト然ルニ本案

ノ如クンハ素ヨリ其意ノ如ク解シ難キ者アリ因テ之ヲ修正シテ豫

算ノ臨時不足ニ充ル者トセントス是レ止タノノ字ノ臨時ノ下ニ在

ルヲ其上ニ移シ聊カ其位置ヲ轉セシムルニ過キサルノミ

○一番神田孝平 賛成

○廿一番箕作麟祥 賛成

○議長 十番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン十番ノ修正説ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者十八人

○議長 多數ナルヲ以テ十番ノ修正説ニ決ス

書記官森山茂 朗讀

第四條 二項

地方税ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初

年ニ於テ其年度間ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取り府知

事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年度間之ヲ施行スル

コトヲ得

○廿二番榎村正直 本官聊カ修正セントスル者アリ本案ニ其年度間ノ經

費豫算ヲ定メ云々又其年度間之ヲ施行云々ト有ルハ是レ悉ク會計年度ニシテ猶ホ十四年度十五年度ト云フカコトシト聞ケリ然ラハ則チ本案ハ五年乃至七年ヲ期シ着手ス可キ事業ヲ初年ニ於テ之ヲ議定シ五年乃至七年間其年毎ニ若干ソ金圓ヲ徵收シ其支辨ニ應スルノ意ナランカ然レトモ之ヲ其年度トスルトキハ例ヘハ十五年度ハ乃チ十五年度ニシテ其年度ニ限ルカ如キ嫌ヒ莫キ能ハス苟クモ數年ヲ期シテ施行スル事業ニシテ之ヲ初年ニ定メ置キ而シテ忽チ翌年度ニ至リ之ヲ廢止スルカ如キコト有ルハ素ヨリ可ナリトセス是レ必スヤ數年ヲ期シテ完成セシム可キ者ナルヲ信ス果シテ然ラハ此度ノ字ヲ削リ單ニ其年間ト爲シテ毫モ他ニ惑ヒナキヲ可トス故ニ本官ハ本案二行三行ニ在ル所口ノ度ノ字ハ共ニ之ヲ刪除セ

ント欲ス

○十番柴原和

年度間トハ會計年度ノ義ナリト内閣委員ノ辨明アリシ但シ年度トハ譬ヘハ本年度即チ十五年度ハ本年七月ヨリ翌年六月迄ヲ謂フコトニシテ地方税ノ支辨モ亦一年度ヲ以テ程限ヲ立テリ本案ハ然ラス即チ數年ヲ期シテ施行ス可キ事業モ其初年ニ於テ數年間ノ經費豫算ヲ定メ逐次之ヲ施行スル者トス是レ政府ハ新タニ一ノ便法ヲ設ケタリト言テ可ナラン然リ而シテ其年度間ノ文字ハ其實數年間ノ意ニ外ナラサレハ度ノ一字ハ終ニ無用ナルヲ知ル特リ無用ナルノミナラス之カ爲メ却テ本按ノ意ヲ損フコト無シトセス因テ廿二番ノ修正說ヲ賛成ス

○議長 廿二番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トス



○廿一番 笑作 購解 廿二番ノ修正説ハ他ノ疑惑ヲ生センコトヲ恐レ其年度間ト有ル度ノ字ヲ删除セント言ヘリ其用意ノ慎密ナルニハ感服スト雖モ惜ムラクハ未タ之ヲ賛成スルコト能ハス何トナレハ年度間ノ度ノ字ヲ削レハ單ニ年間トナルヲ以テナリ前ニ「初年ニ於テ」ト有ヲ承ケテ「其年間」ト言フトキハ尙ホ其初年ヲ指スノ年間タルノ嫌ヒ無キヲ得ス故ニ之ヲ其數年間トセハ或ハ可ナランカ本官ハ到底度ノ一字ヲ删除スルモ初年ニ於テト云フニ適切ナリトハ認メ難カラントス

○十番 柴原和 廿一番ハ之ヲ年間トスルモ初年ニ對シテハ適切ナラスト云フ唯初年ノ文字ノミニ關セハ或ハ然ラン然レトモ其上文ニ既ニ數年ヲ期シテト有ルヲ以テ之ヲ擴ムルトキハ則チ初年ニ於テ三

年乃至五年間ノ經費豫算ヲ定ムルコトタルハ明瞭ナラン尙ホ好修正ノ出ル有ラハ賛成ス可キモ即今ハ先ツ問題說ヲ以テ可トス

○一番 神田孝平 本官ハ初メヨリ本案ニ疑ヒヲ存セシニ内閣委員ノ辨明ヲ以テ稍曉得セシト雖モ思フニ尙ホ文意ノ未タ盡ササル所口有ルカ如シ而シテ問題說モ亦以テ充分ナラサルヲ覺フ何トナレハ本案ハ幾年間ト幾年度トノ兩意義ヲ含蓄シタル者ナルヲ以テ之ニ恰應スルノ文字ヲ填スルニ在ラサレハ其意義ヲ盡ス能ハス故ニ本官ハ「其年度間」ノ「度」ノ字ヲ除キ之ニ換ルニ期ノ字ヲ以テシ而シテ其下ニ毎年度ノ三字ヲ加ヘントス果シテ此ノ如クナレハ内閣起草ノ意ヲ發輝ス可シ現問題消滅セハ之ヲ提出セン

○廿九番 渡邊清 本官モ一番ト同感ナリ已ニ腹稿ノ修正文字モ畧ホ相

似タリ因テ之ヲ賛成セントスルヲ以テ現問題説ニハ同意スルヲ能ハス

○外一番安場保和 本案ハ内閣ニ在テモ其穩當ナランコトヲ欲シテ屢ハ評論セシ者ナリ而シテ既ニ其年度間ト決定セシモ今各位ノ説ク所ヲ聞キ復タ更ニ曉得スル所口無キニ非ス現問題モ亦敢テ理無シト爲サス且廿一番ノ説ノ如ク上文ノ如何ニ拘ハラズ單ニ初年ニ於テト有ルヲ以テ之ニ對スルトキハ則チ疑ヒノ其間ニ生スル無キニ非ス然レトモ十番ノ如ク通讀シテ之ヲ判別スレハ其修正ヲ俟タスシテ本案ノ意ノ在ル所ハ分明ナリトス但シ本官等ハ務メテ本案ノ間然ナカラシコトヲ欲ス故ニ彼ノ一番ノ豫陳セシ如ク精且密ナル修正アルニ至ラハ本員ハ却ツテ之ヲ悦フ所トス

○廿三番九鬼隆一

廿二番修正主意ハ本官モ同意スル所ナルモ聊カ文字上ニ關シテ之ヲ賛成スル能ハス即チ本官ハ「其年度間」ノ「度」ノ字ヲ除キ之ニ換ルニ期ノ字ヲ以テセントス時機ヲ得ハ之ヲ提出セン

○議長 發議已ニ盡キタルヲ以テ決ヲ取ラン廿二番ノ修正説ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ廿二番ノ修正説ハ消滅ス

○一番神田孝平

本官修正説ヲ提出ス可キ機會ヲ得タリ即チ前陳ノ如ク「其年度間」ノ「度」ノ字ヲ期ニ換ヘ而シテ其下ニ「每年度」ノ三字ヲ加ヘ「經費豫算」ヲ定メ云々ト接續セシメ其三行ニ在ル「年度」ノ「度」ノ字モ亦期ノ字ニ換ントス蓋シ其年期間トセシハ五年乃至七年間ノ數

年期ナルヲ明カニ示スカ爲メニシテ其毎年度トセシハ即チ初年ニ於テ毎年度ノ經費豫算ヲ定ムルニ在リ元來本案ハ譬へハ幾年間ニ若干ノ支辨ヲ要ストスレハ甲地方ニテハ毎年度ニ平均シテ若干宛トシ又乙地方ニテハ之ヲ遞減スル方ヲ用フル等是レ一ニ初年ニ於テ定ムル所ニ由ルノ意味ナラン故ニ本官ノ修正ハ即チ此意ヲ承ケテ之ヲ明示セントス此ノ如クシハ本案ノ主旨ヲ達スルニ庶幾ラン

○十番柴原和 賛成ス本案ハ既ニ解釋シ易カラサル者アルヲ以テ向キニ廿二番ノ修正說ニ賛成ヲ表セシト雖モ終ニ消滅ニ歸セリ今ヤ一番ノ說ヲ翫味スルニ之ヲ廿二番ノ修正說ニ比スレハ更ニ可ナルヲ覺フ例へハ三年間ヲ期スルノ工事ナランニハ其經費ヲ三年ニ配當シ而シテ初年ハ起業ナルヲ以テ豫算ノ額ヲ少クシ二年三年ニ於テ

其額ヲ多クスル等ハ即チ初年ノ定ムル所ニ由ルヲ以テ實際大ニ便宜ヲ得ントス「其年度間」ヲ「其年期間」トスルモ亦甚々其當ヲ得タリトス

○九番渡邊洪基

本官モ一番ノ修正說ヲ賛成ス而シテ此ニ發議者ニ對シ一言ヲ呈セントスル者アリ一番ハ「其年度間」ノ「度」ノ字ヲ「期」ノ字ニ改作シ其下ニ「毎年度」ノ三字ヲ加ヘント言フハ太々可ナルモ尙ホ其「數年」ヲ期シテ「ト有ル數年」ノ下ニ「度」ノ字ヲ加ヘ「數年度」ヲ期シテ「ト爲サハ更ニ可ナラン既ニ地方稅規則第四條ニモ「其年七月ヨリ翌年六月迄」ヲ一週年度トナシ府知事縣令ハ其年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算并地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取り其年五月ヲ以テ内務卿及大藏卿

ニ報告スヘシト有リテ地方税ノ經費豫算ハ即チ一年度ヲ以テセリ  
本案モ之レト同一ニセハ益ス完備タル可シ若シ採擇スル所トナラ  
ハ幸甚

○議長 九番ハ一番ノ同意ヲ得スハ別ニ修正説トシテ提出セント  
スルヤ

○九番 渡邊 洪基 其同意スルト否トニ關セス一番ノ修正説ハ原案ニ比ス  
レハ大ニ可ナルヲ以テ之ヲ賛成スルノ意ナリ

○卅一番 鍋島 幹 本案ハ意義確乎タラス因テ多少見解ヲ異ニセリ故ニ  
之ヲ實際ニ施サハ大ニ支障有ラント憂慮セシニ一番ヨリ頗ル明瞭  
ナル修正説ヲ提出セリ因テ之ヲ賛成ス

○議長 一番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○十番 柴原 和 九番ハ「數年」ヲ期シテ「ト有ル」ヲ「數年度」ヲ期シテ「トセハ

更ニ可ナリト云フト雖モ是レ其經費ニ非スシテ其事件ヲ指稱スル  
者ナレハ「數年度」ト爲サンヨリハ寧ロ「數年」ヲ期シテ「ト爲ス」ノ適實  
ナルニ如カス

○廿二番 榎村 正直 本官向キニ修正説ヲ提出セシハ「其年度間」トアル「度」  
ノ字ニ嫌ヒアルヲ以テノ故ナリ然ルニ現問題ハ毫モ其嫌ヒ無ク殊  
ニ詳明セリ因テ賛成ス

○廿一番 箕作 麟祥 本官ハ廿二番ト其意ヲ同ウセシモ字句ノ如何ニヨリ  
遂ニ賛成スル能ハサリシ今ヤ一番ノ修正ハ兩者共ニ得タリトス乃  
チ賛成ノ意ヲ表ス

○廿九番 渡邊 清 賛成

○議長 發議盡キタリト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン一番ノ修正說ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者廿一人

○議長 多數ナルヲ以テ一番ノ修正說ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第五條 二項

前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取リ其補充費ヲ徵收スルコトヲ得

右奉 勅旨布告候事

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者廿人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○議長 時五時ニ達ス晚餐ノ爲メ一時退場シ食後更ニ開會セン散會ス可シ

午後第五時閉場

午後第五時四十分開場

退席 十六番 大久保一翁

同 十番 柴原 和

同 十三番 鍋島 直彬

同 廿六番 關口 隆吉

同

九番

渡邊 洪基

同

卅四番

三浦 安

○議長 午後續キノ第二讀會ヲ開カン例ニ依リ發議ス可シ

書記官 森山 朗讀

布告案

府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信スルコトヲ許サス但集會スル者何等ノ名義ヲ以テスルモ府知事縣令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルトキハ其解散ヲ命シ必要ナル處分ヲ執行スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサルモノハ集會條例第十三條ニ依テ處分ス

右奉 勅旨布告候事

○廿九番 渡邊 清

本官修正說有リ本案中云々府知事縣令ニ於テ此禁令

ヲ犯ス者ト認ムルトキハ其解散ヲ命シ必要ナル處分ヲ執行スヘシト有ル「其」ノ字及ヒ「シ」必要ナル處分ヲ執行「ノ」十字ヲ削リ而シテ直ニ「ニ」二字ヲ加ヘ「直ニ解散ヲ命スヘシ」トセントス之ヲ要スルニ其解散ヲ命セハ必要ナル處分ヲ執行スルハ素ヨリ言ヲ俟ス特ニ第二項ニ於テ之ヲ處分スルノ嚴法アリ何ソ此數文字ヲ要センヤ蓋シ本案中此文字アル音ニ木ニ接クニ竹ヲ以テスルカ如キ看アルノミナラス意ヲ逆ヘ情ヲ揣リ其窮極スル所人ヲシテ意外ノ感觸アラシメントス是レ此文字ヲ刪除セントスル所以ナリ願クハ此說ノ成立セシコトヲ

○廿二番 榎村 正直 賛成

○議長 廿九番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トス

○外三番 大森 鍾一 廿九番ノ修正ハ「必要ナル處分ヲ執行云々」ヲ削除セ

ントスルニ在リ是レ其通常ノ見ヲ以テスレハ既ニ解散ヲ命スルノ文字アレハ足ル者ノ如キモ特ニ之ヲ掲ケ來リシハ偶然ニ非ス蓋シ是レ府縣會議員ノ會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會スルカ如キハ殊ニ弊害多ク終ニハ危險ノ行爲ニ陷ル無キヲ保セサルヲ以テ例ヘハ未タ陰雨セサルニ先タチ牖戸ヲ網縷セント欲スルノ意ナリ要スルニ其解散ヲ命スル場合ニ於テハ或ハ意外ノ混雜ヲ生スルモ亦期ス可カラサルカ故ニ今ヨリ意ヲ茲ニ注キ其規程ヲ定メ務メテ實際行ハレ易カラントス若シ廿九番ノ修正ニ決シ一

且發表スルニ至ルモ當局者ハ事ニ臨ミ充分之ヲ處置スルコト能ハス屢次躓クコト有ラハ其時ニ方リ必ス之ヲ添加セサルヲ得ス既ニ之レ有ルヲ知ラハ寧ロ今ヨリ此成文ヲ掲ケテ以テ處分ノ便宜ニ供スルニ如カス但シ行政官ノ事ヲ處スルヤ臨機相當ノ所斷アル可シト雖モ苟クモ法律ニ成文ナキ時ハ或ル場合ニ於テハ其着手ヲ躊躇シ時機ヲ誤ルコト無シトセス是レ此成文ヲ掲載シ遲疑スル所無ラシム可キナリ然リ而シテ其字句如何ニ於テハ本員等敢テ本案ノ如クナラサル可カラスト云フニ非ス止タ其精神ノ失墜セサランコトヲ欲スルノミ

○十五番 伊丹 重賢 本官モ必要ナル處分ノ文字ハ怪マサルニ非サリシモ

深ク意ヲ此二項ニ注ケハ「解散ノ命ニ從ハサルモノハ云々」ト有ル

ノ場合ニ於テハ巡查ヲシテ拘引セシムル等ノ手續ニ出ル有ランモ亦圖ル可カラス然ラハ則チ原案ノ如ク此文字ナカル可カラサル者トス

○三番 長岡護美

本案ヲ可トス十五番ノ言ノ如ク解散ノ命ニ從ハサレハ集會條例第十三條ニ依リ處分セラル可シ但シ事此ニ至ル迄ノ間多少ノ手數アルヤ必セリ能ク之ヲ翫味セハ自カラ其必用ナルヲ知ルニ足ラン本案ノ如クナランコトヲ要ス

○一番 神田孝平

本官モ必要ナル處分ノ文字ハ無カル可カラサル者トス何トナレハ解散ノ命ニ從ハスシテ集會條例第十三條ニ依リ處分スル時ハ其門戶ニ掲ケシ招牌モ撤却ス可ク或ハ處々ノ張札又ハ引札ノ類モ悉ク收集スルコト有リ或ハ其場所ヲ貸與セシヲ咎メ或ハ建

物ノ新設ニ係ル者ノ如キハ之ヲ毀廢セシムル等種々ノ手段アル可シ是レ皆必要ノ處分中ニ屬ス可キ者アルヲ以テ本官ハ必ス此文字ヲ以テ要用トス

○廿九番 渡邊清

反對論者ハ禁令ヲ犯ス者ニ對シ此文字ナキトキハ則チ其執行凝滯スト云フト雖モ未タ其事實ヲ證明シテ抗拒スルニ非ス抑モ此聯合集會ヲ爲ス者ハ則チ府縣會議員ナリ此議員タルヤ財産ニ年齢ニ其議員タルノ資格ヲ有シ而モ人情道理ニ通スル者ナリ誰カ之ヲ風癩白痴又ハ無分別者ト同視スル者アラシヤ然ラハ則チ斯ル豫備ノ文字ノ無用タルヲ知ラン且本官ハ府知事縣令ヨリ解散ヲ命セハ其議員ハ唯ヤトシテ甘從ス可キヲ信ス若シ或ハ之ヲ拒ム者アラハ即チ直チニ第二項ノ成文ニ據リ處分シテ可ナランノミ何



ソ此行文アルヲ要センヤ畢竟此ノ如キ文字ハ徒ニ人氣ヲ害フノ反  
用ヲ爲スニ過キス若シ假リニ之ヲ存スルモ唯是レ表面ノ飾具ニシ  
テ復タ何ノ用ヲカ爲サン本官別ニ慮ル所ハ今之ヲ嚴禁スルモ尙ホ  
隱微ノ間ニ於テ彼此交連シ以テ其意ヲ達セントスル者有リテ又之  
ヲ奈何トモスル能ハス恐ル可キノ尤ナル所ナリ何ソ必スシモ汲々  
多岐ニ涉ルヲ須ヒン宜ク此虛文ヲ去リ實用ヲ主トスヘシ

○廿二番 横村  
正直

本官ハ問題說ヲ贊成セリ然ルニ内閣委員ハ本案維持  
ノ說ヲ主張シ若シ修正說ノ如クンハ禁令ヲ犯ス者アリテ之カ解散  
ヲ命スルノ際ニ方リ臨機ノ處分ヲ爲ス能ハスト言フ者ノ如シ本官  
ヲ以テ之ヲ見レハ此必要ナル處分云々ノ文字ハ則チ曖昧模糊ノ間  
ニ存シテ確然其用所ヲ定メタル者ニ非ス是レ形様字タルニ過スト

ス但シ此形容字ニシテ利アリトセハ之ヲ存ス可キモ本案ノ場合ニ  
於テハ却ツテ害アリテ利ナシ何トナレハ唯其聲言ノミ嚴格ナルカ  
如キモ實事ニ於テハ更ニ得ル所ナク偶マ人民ヲシテ感觸ヲ惡カラ  
シムルノ具トナルニ過キサレハナリ前ニ府縣會規則第六條二項ノ  
追加案ヲ議スルニ方リ僅ヤタル代理人ノ文字ノ有無ニ由リ當局者  
ノ説明上大ニ便不便トアルノ所以ヲ論究セシニ非スヤ既ニ代理人  
ト云フカ如キ判然タル文字タモ尙ホ然リ況ンヤ本案ノ如キ茫乎タ  
ル文字ニ於テヲヤ思フニ此文字ヲ省カハ反テ意義徹底ス可シ抑モ  
本案ヲ看閱スルニ府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會  
議員ト聯合集會スヘカラスト有ルヲ第一段トナシ此禁令ヲ犯ス者  
ハ府知事縣令ニ於テ解散ヲ命スヘシト云フヲ以テ第二段トス而シ

テ若シ其命ニ從ハサル者アレハ集會條例第十三條ニ依リ處分スニ至リ第三段トナリテ首尾照應シ脈絡貫通シテ以テ一ノ缺クル所ナシ何ヲ苦ンテ無用ノ文字ヲ加ヘン蓋シ此文字ノ密ニ無用ニ歸セハ猶ホ可ナルモ或ハ時トシテハ助害ノ具タル無キヲ保セス其故ハ解散ヲ命スル際ニ方リ必要ナル處分云々ノ意義ヲ誤解シ暴ニ其招標ヲ撤却シ或ハ家屋ヲ毀損スル等ノ措置ヲ爲シ大ニ雙方紛議ヲ醸生スル有ルモ亦期セサル可カラサレハナリ然ルニ問題說ノ如クンハ直ニ解散ヲ命ス可シト有ルヲ以テ毫モ斯ル懸念ノ生ス可キ無シ且假令此文字ナキモ或ル場合ニ於テハ犯者ヲ拘引スル等ノ手續ヲ爲スハ特リ本案ノミナラス他ニ多ク有ル所ノ事タリ依テ此ニ之ヲ詳載シ而シテ彼ニ之ヲ略記スルカ如キハ或ハ恐ル彼ハ何事ヲ爲スモ

拘引等ノ處分ヲ爲ス能ハスト誤認スル者アルモ亦知ル可カラス要スルニ何ノ點ニ向ツテ論スルモ此無用ノ文字ヲ省キ葛藤ノ源ヲ塞クヲ可トス

○卅一番 鍋島

幹

本官モ亦問題說ヲ賛成ス發議者並ニ廿二番ノ言ハル

如ク必要ナル處分トハ輕漂浮泛ナル文字ニシテ更ニ其用所ヲ知ラス故ニ各其見ル所ニ由リテ解釋ヲ異ニスルノ弊ハ到底免ル可カラズ内閣委員ノ之ヲ維持スルノ論旨ハ若シ此文字ナキトキハ則チ臨機應變ノ處分ヲ爲スニ苦ムト云フカ如シ蓋シ此語タル未タ以テ其事實ヲ證明スルニ足ラス特リ證明スルニ足ラサルノミナラス其臨機處分ニ便ナルカ爲メ一方ニハ之ヲ以テ必要ナル處分トスルモ他一方ニ在テハ之ヲ不必要ナル處分トシ上下交モ爭端ヲ開キ終ニ

起訟ノ基源ヲ此ニ發スルモ亦圖ル可カラス假令紛訟ヲ生セサルモ  
 毎ニ見解ヲ異ニスルノ點ヨリ爭議ノ絶ヘサルハ其掌ヲ指スヨリ明  
 カナリ既ニ斯ル紛議ヲ裁決スルニ方リテハ其必不必ヲ認定スルハ  
 素ヨリ容易ノ事ニ非ス寧ロ之レ無キノ優レルニ如カス若シ夫狂妄  
 法ヲ犯シ暴戾事ヲ亂サントスル者ノ如キハ則チ別ニ處分法ノ在ル  
 有リ何ソ之ヲ特記スルヲ要センヤ

○廿九番 渡邊清 若シ問題說ヲ否トシ本案ノ如ク決スルニ至ラハ恰モ  
 是レ葛藤ノ種子ヲ播植スルニ異ナラス蓋シ成文ニ必要ナル處分ヲ  
 執行ス可シトアルヲ以テ偶マ粗暴事ヲ好ムノ徒ニ逢ハ、其者殊更  
 ニ言ヲ設ケ解散ノ命ハ既ニ之ヲ領スルモ仍ホ必要ナル處分ノ行フ  
 可キヲ行ハス之ヲ奈何スルヤト問フ有ラハ何ヲ以テ之ニ答ヘント

スルヤ畢竟其命ニ從フアラハ止ンノミ何ソ必スシモ巡查ヲシテ拘  
 引セシムル等ノ處分ヲ爲スヲ須ヒン假令事ノ此域ニ至ラサルモ常  
 ニ多少ノ混雜ハ免レサル可シ是レ本官ノ修正說アル所以ナリ

○十一番 津田眞道 本官ハ固ヨリ本案ヲ維持スル者ナリ然レトモ現問題  
 ノ如キハ復タ之ニ同意セサルヲ得ス蓋シ本官ノ意タル凡ソ地方ニ  
 長官タルモノハ其職權上孰レノ時處ヲ問ハス苟クモ事アルニ際シ  
 必要ノ處分ヲ執行スルヲ得ルハ敢テ言ヲ俟タス是レ警察ノ全權ヲ  
 掌理スルヲ以テナリ何ソ特ニ此項ノミニ之ヲ明記スルヲ要センヤ  
 宜シク問題說ノ如クナルヘシ

○議長 討議盡キタルト認ムルヲ以テ決ヲ取ラン廿九番ノ修正說ニ  
 同意者ハ起立ス可シ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ廿九番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ本案ノ決ヲ取ラン之ニ同意者ハ起立ス可シ

起立者九人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ第二讀會ハ茲ニ畢ル抑モ本案ノ至急ヲ要セララル、ハ各位ノ知ル所ナルヲ以テ今ヨリ直チニ第三讀會ヲ開カントス但シ其第二讀會ニ於テ修正アリシ條項ノミヲ朗讀セシメ他ハ慣例ヲ用ヒ連帶シテ決ヲ取ラン各位之ヲ領セヨ

書記官 森山茂 朗讀

布告案

明治十三年<sup>四月</sup>第拾五號布告同年<sup>十一月</sup>第四拾五號布告府縣會規則中左ノ通追加改正ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意者ハ起立ス可シ  
起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第六條 二項

出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ説明ヲ求ムルトキハ府知事縣令若クハ其代理人之ヲ説明スヘシ

○三番 長岡護美 本官ハ第六條二項ノ前ニ第五條二項削除トノ文字ヲ掲載セントス因テ其修正説ヲ提出ス